

# アンサーバックシステム リモコンエンジンスターター&ターボタイマー

## 取扱説明書／保証書

# BeTime A-55

この度はリモコンエンジンスターターを、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

### 目次

はじめに	機能説明
●主な特徴・・・・・・・・・・ 2	●セキュリティ機能【SECURITYモード】について
●使用上の注意・・・・・・・・ 3	・電圧センサー検出の設定・・・・・・・・ 39
●梱包内容・・・・・・・・・・ 4～5	・電圧センサーの調節/カーテシ検出の設定・・ 40
●各部の名称【リモコン/アンテナユニット】・・ 6～7	・OP拡張振動センサー検出ON/OFF設定・・ 41
●取付前の注意・・・・・・・・ 8	・OP外部ホーン警報・・・・・・・・・・ 42
取付け	・イモビライザー機能を解除する為の暗証番号登録・・ 43
●接続・・・・・・・・・・ 9～14	・セキュリティ機能をスタート/ストップさせる・・ 44
●エラー確認・・・・・・・・・・ 15	・車輦に異常があった場合【ウォーニングアラーム機能】・・ 45
●メインユニットについて・・ 16～17	・履歴表示機能・・・・・・・・・・ 46
●フットブレーキ配線・・ 18	・ウォーニングランプ・・・・・・・・・・ 47
●L端子検出配線・・ 19	●ワイヤレスドアロック機能について
リモコンの使用法	・配線方法・・・・・・・・・・ 48～50
●ご使用になる前に、電源を入れる/切る・・ 20	・ドアロック/アンロックする・・・・・・・・ 51
●IDコード登録について・・ 21	・キーフリー機能を使用する・・・・・・・・ 52
●リモコンを追加登録する・・ 22	●温度表示機能・・・・・・・・・・ 53
●エンジンをかける・・・・・・・・ 23	●デモンストレーション機能・・・・・・・・ 54
●エンジンを止める・・・・・・・・ 24	その他
●エンジンの始動状態を確認する・・ 25	●アンテナユニットとメインユニットの固定方法・・ 55
アンテナユニットの操作方法	●運転するには・・・・・・・・・・ 56
●操作手順・・・・・・・・・・ 26～27	●リモコン電池交換について/リモコンを紛失した時は・・ 57
●時計表示設定【CLOCKモード】について・・ 28	●オプション・・・・・・・・・・ 58
●暖気時間設定【WARMモード】について・・ 29	●故障かな？と思ったら・・ 59～60
●タイマースタート設定【TIMERモード】について・・ 30～31	●アフターサービスについて・・・・・・・・ 61
●ターボタイマー設定【TURBOモード】について・・ 32～33	●仕様・・・・・・・・・・ 62
●エンジン始動制御と特殊機能の設定について	●保証規定・・・・・・・・・・ 63
・セル時間【C】の設定・・・・・・・・ 34	●保証書・・・・・・・・・・ 64
・グロー時間【GL】の設定・・・・・・・・ 35	
・ピープ音【b】の設定・・・・・・・・ 36	
・オートディマー機能【Ad】の設定・・ 37	
・イルミネーション機能【IL】の設定・・ 38	

## はじめに (主な特徴)

- 拡張型セキュリティーシステムを搭載した多機能アンサーバックリモコンエンジンスターター登場
- オプションの振動センサーや外部スピーカー等を取付ける事で車輛の安全性が広がる拡張型セキュリティーシステム搭載※1
  - ※1 取付できる主なオプション品
    - ① 拡張振動センサー2(SS-053) (弊社セキュリティーシステム「守護神」と兼用)
    - ② 外部ホーン(Be-971)
    - ③ セルカットイモビライザーユニット(Be-969)
- 業界初! 折りたたみ式リモコン採用で大画面液晶表示を可能にしました
- リモコンアンサーバックはメロディーでお知らせ
- 車輛異常 (ドアオープン検出/振動検出) をリアルタイムにリモコンで確認するウォーニングアラーム機能搭載!
- キーフリー機能搭載! (特許申請中) 車輛に近づいただけで開錠、離れると施錠します。もちろんリモコン操作で車輛ドアロック制御可能。(セキュリティー連動)
- 環境問題に配慮したアイドリング時間自動調節機能ECOモード搭載!  
また、マニュアル設定で好みのアイドリング時間変更も可能 (最大59分59秒まで)
- 大画面液晶表示のアンテナユニットで車内温度や現在時刻を表示
- アンテナユニット後方ウォーニングランプが点滅し夜間、不審者に心理的な威圧感を与えます。
- 各曜日ごと1日2回まで予約可能なタイマースタート機能
- 走行条件に合わせてターボタイマー時間の変更可能 (オート/0~59分59秒)
- 車種に合わせてグロー時間の変更可能(5秒~10秒)
- 8日間、車のエンジンをかけなかった場合、本体の消費電力を自動的に抑えるスリープ機能付き
- 万々に備えた安全機能
  - (1) IDコードによる誤作動防止機能  
本機は個々に違うIDコードが登録されていますので、他のリモコンや他の電波による誤作動を防止します。  
※リモコンを紛失された場合は、新しいリモコン (別売) のIDコードを再登録できます。
  - (2) シフトポジション検出機能  
本機作動時のアイドリング中、ATシフトレバーをパーキング[P] (もしくはニュートラル[N]) から他のポジションへ移動した場合、エンジンが停止します。
  - (3) フットブレーキストップ機能  
本機作動時のアイドリング中、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。
  - (4) ACC検出機能  
本機作動時のアイドリング中、IGキーがACCの位置で約2秒経過するとエンジンを停止します。
  - (5) ボンネットセンサー検出機能 (オプション設定)  
別売のボンネットセンサー (Be-960) を配線することにより、リモコンでエンジン始動中ボンネットを開けるとエンジンが停止します。
  - (6) カーテシストップ機能  
カーテシ線を配線する事により、リモコンでエンジン作動中ドアを開けると約15秒後にエンジンが停止します。

### 危険

事故・火災等の危険性がある、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- 公道や公共の駐車場での使用は道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。
- 排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性がある燃えやすい物の近くでは、使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、イグニッションキーをOFFにする時はA/Tシフトレバーをパーキング [P] に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産A/T車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、パーキング [P] 以外でもIGキーを抜くことができるため、必ず守ってください。
- 暖気運転の直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。

### 注意

車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。

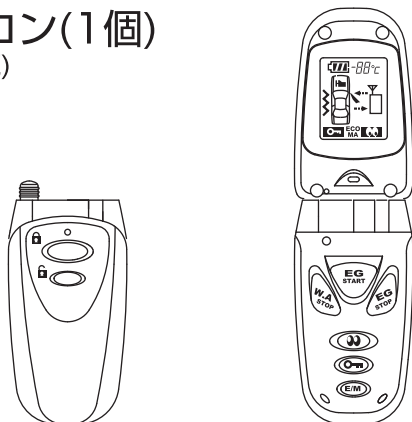
- 本機は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
- リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
- リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、罰せられることがあります。
- ターボタイマー（スターター含む）や他社盗難警報機との併用取付けはできません。
- キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックは、リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- 本機作動中、オートポジションステアリング及びシートが作動しないことがあります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- オートライトコントロールシステムは、降車時にスイッチをOFFにしてからIGキーを抜いてください。(オートライト配線を行ってない場合)

**IGキーでエンジン始動及び停止した場合、車載のスピーカーから異音が鳴ることがありますが、これは異常ではありません。**

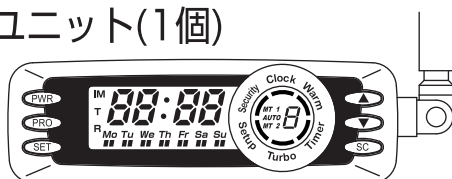
**本機は車体への衝撃(オプション)や電圧変化を感知し、警告を行う機能がありますが、車上狙い、車輦盗難、車輦へのイタズラ等が発生しましても当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。**

## はじめに (梱包内容)

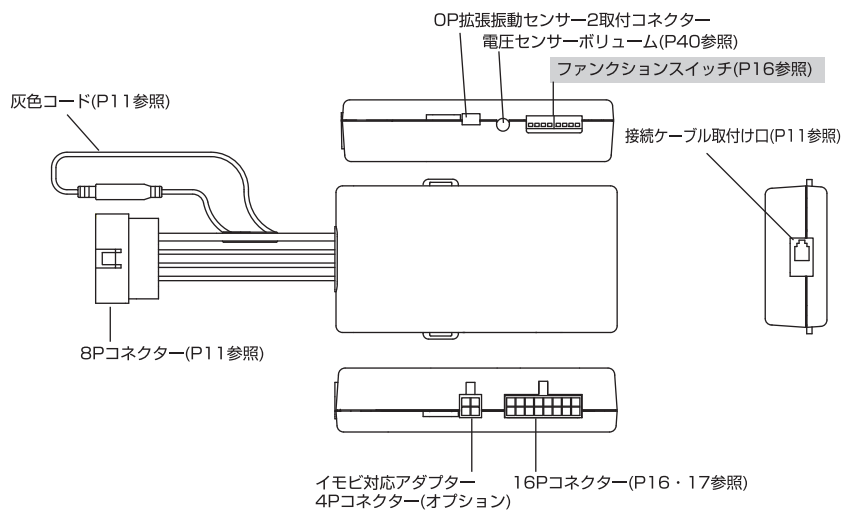
### ■ リモコン(1個) (電池内蔵)



### ■ アンテナユニット(1個)



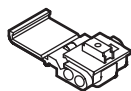
### ■ メインユニット(1個)





## ■付属品

■エレクトロタップ(6個)



■サンバイザーステー(1個)



■コードクランプ(6個)



■両面テープ(サンバイザー取付用 1枚)



■ダッシュボードステー (1個)



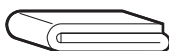
■両面テープ(ダッシュボードステー固定用 1枚)



■接続ケーブル(1本)



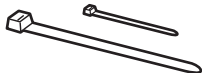
■保護テープ(1枚)



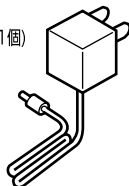
■警告ステッカーシート (1枚)



■インシュロック  
(大) (3本)  
(小) (6本)



■専用ACアダプター(1個)



■フットブレーキ端子延長線(黄色)(P18参照)(1本)



■L端子延長線(白色)(P19参照)(1本)



■16Pコネクター(1個)  
&アース端子線(黒色)(P10参照)(1本)  
&フットブレーキ端子線(黄色)(P18参照)(1本)  
&L端子線(白色)(P19参照)(1本)



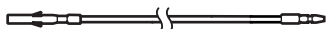
■ドアロック端子線(緑色)(P48~50参照)(1本)



■ドアアンロック端子線(紫色)(P48~50参照)(1本)



■ドアポジション端子線(桃色)(P48~50参照)(1本)

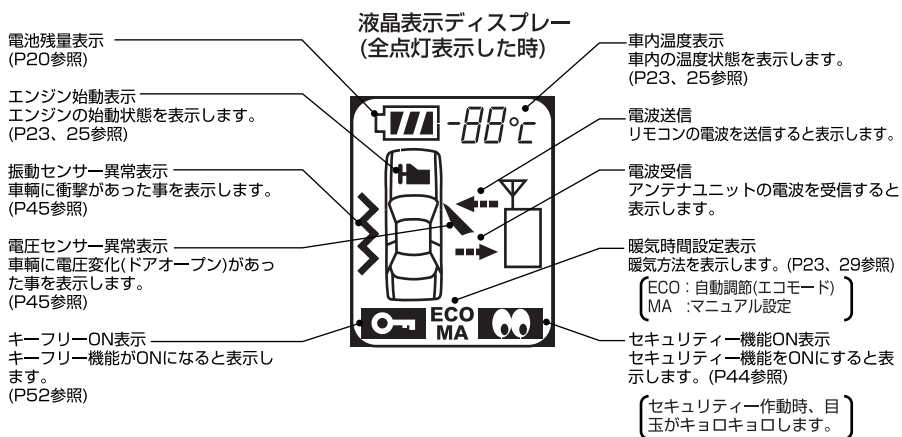
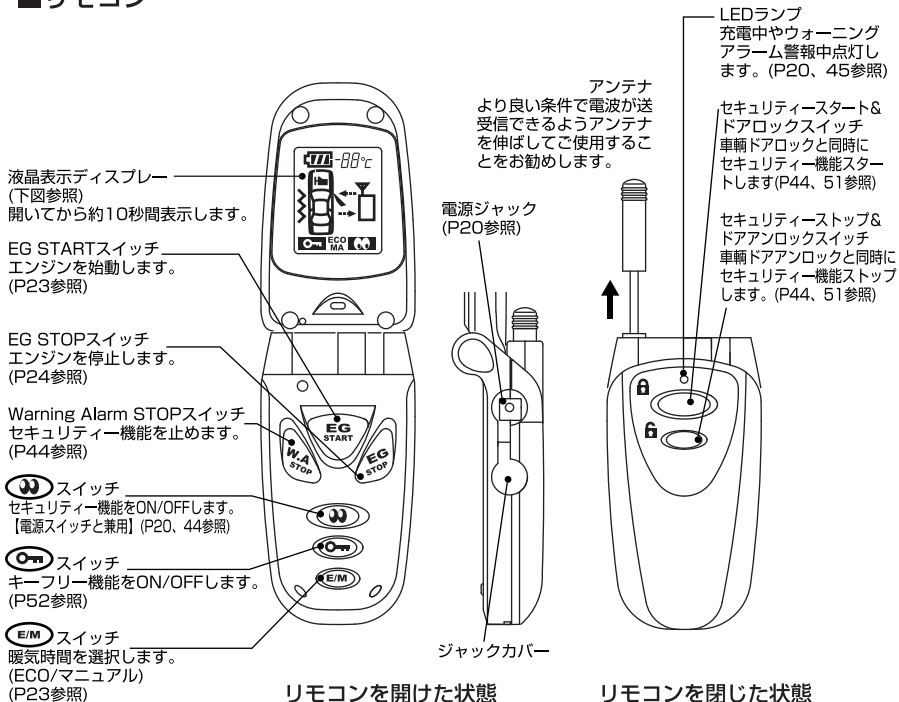


■カーテン端子線(青色)(P40参照)(1本)

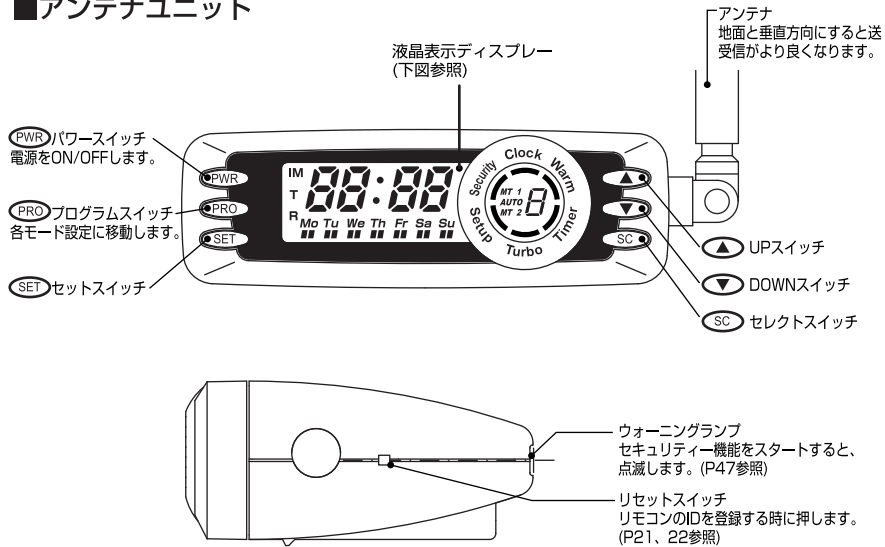


# はじめに (各部の名称【リモコン/アンテナユニット】)

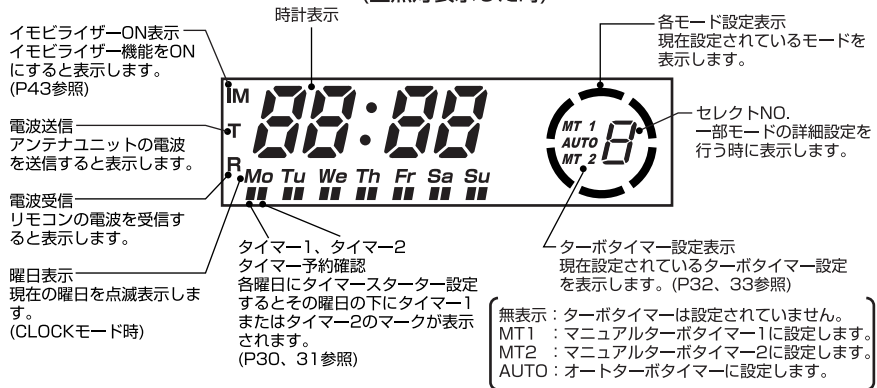
## ■リモコン



## ■アンテナユニット



## 液晶表示ディスプレイ (全点灯表示した時)



## はじめに (取付け前の注意)

取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

### ① 取付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター
- ・ドライバー
- ・プライヤー
- ・スパナ又はボックスレンチ
- ・カッターナイフ
- ・絶縁テープ

☆その他の工具が必要になる場合があります。

### ② シフトレバーとパーキングブレーキ(サイドブレーキ)について

シフトレバーをパーキング $\square$ にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、IGキーを抜きます。

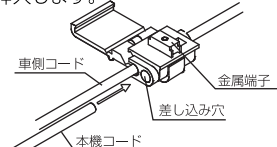
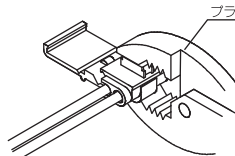
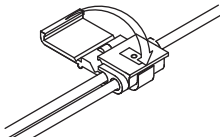
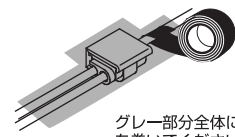


### ③ 配線について

- アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部(コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等)に専用ハーネスやコード類が接触しないように配線してください。配線が接触する可能性のある場合は、保護テープを貼って保護してください。



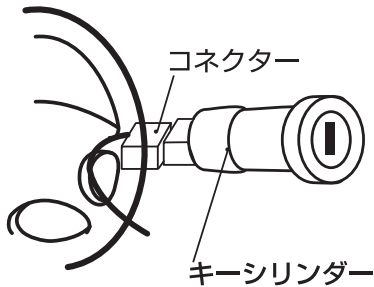
### ④ エレクトロタップ使用方法について

<p><b>1</b> 車側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。</p>  <p>車側コード 金属端子 差し込み穴 本機コード</p>	<p><b>2</b> プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。</p>  <p>プライヤー</p>
<p><b>3</b> カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。</p> 	<p><b>4</b> 絶縁テープを巻いて作業終了です。</p>  <p>グレー部分全体にテープを巻いてください。</p>

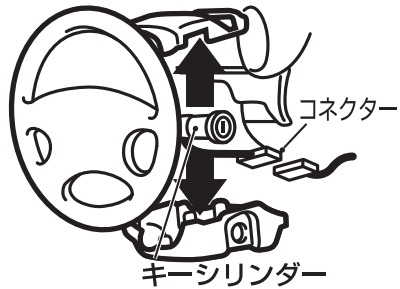
## 取付け (接続)

**1** 車のキーシリンダーから出ているコネクターを探してください。

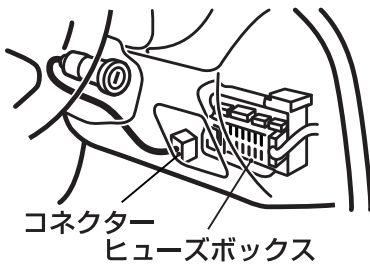
①キーシリンダー直付けタイプ



②キーシリンダーから10cm~20cmの場所にあるタイプ

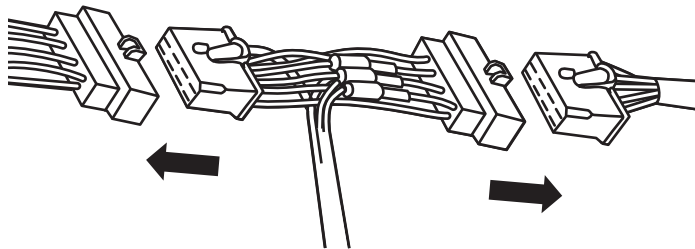


③ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ



※コネクターの場所は車種によって異なります。  
(ほとんどの車が上記1~3のいずれかにあてはまります。)  
車種によってはコネクターが2ヶ所存在する場合もあります。

**2** 車側のコネクターを外し、外したコネクター間を専用ハーネスで接続してください。



### ⚠ 注意

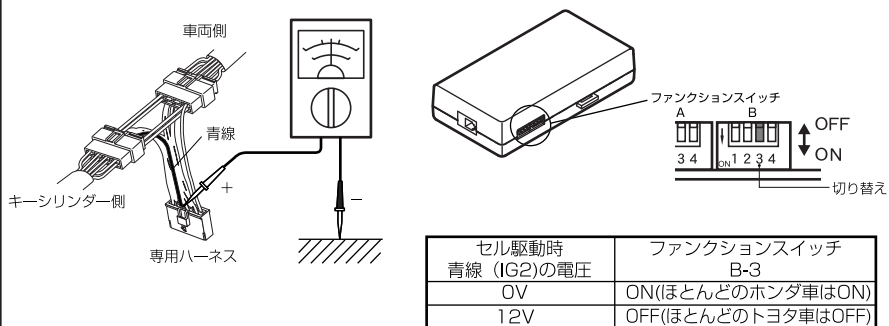
コネクターを外して、IGキーを回しても、エンジンはかかりません。  
もしかかった場合は、そのコネクターは違いますので別のコネクターを探してください。

## 取付け (接続)

### 3 メインユニットのファンクションスイッチB-3の設定

**!** 注意 この設定をしないと、ABSランプが点灯したり、エンジンがかからない場合があります。

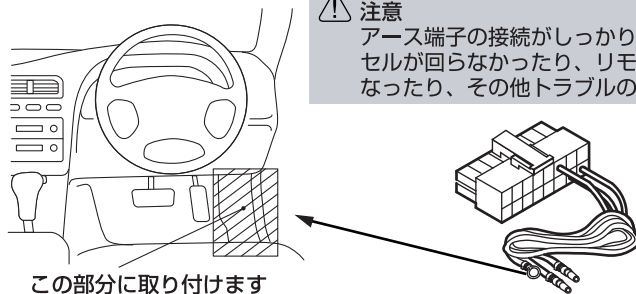
- ①テスターを図のように専用ハーネスのキーシリンダー側の青線(IG2)にあてます。  
(※青線のないハーネスはメインユニットファンクションスイッチB-3をOFFにします)
- ②キーでセルをまわしている間に、青線(IG2)が  
0(V)の時は、メインユニットファンクションスイッチB-3をONにします。  
12(V)の時は、メインユニットファンクションスイッチB-3をOFFにします。



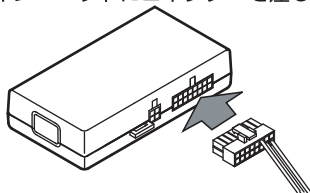
### 4 アースの取付

- ①アース端子 (黒コード) を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。

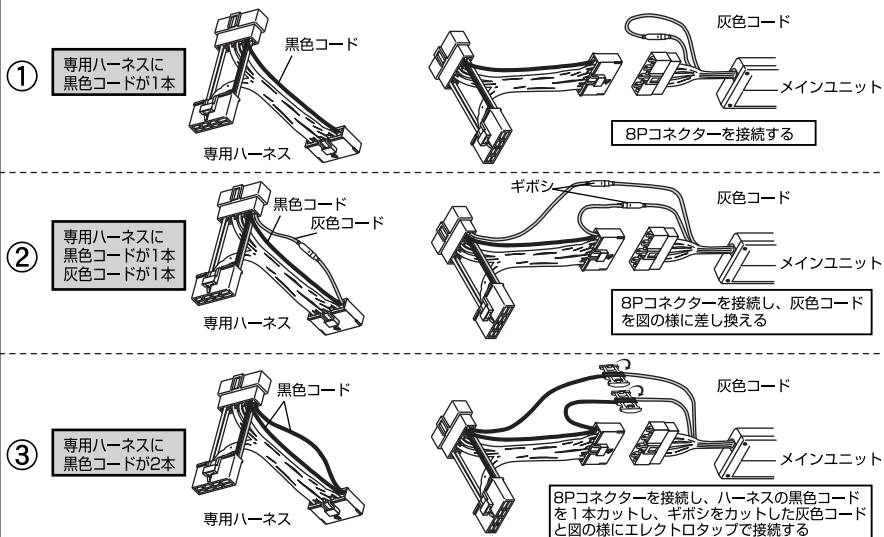
**!** 注意  
アース端子の接続がしっかり固定していないと、セルが回らなったり、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。



- ②メインユニットにコネクタを差し込みます。



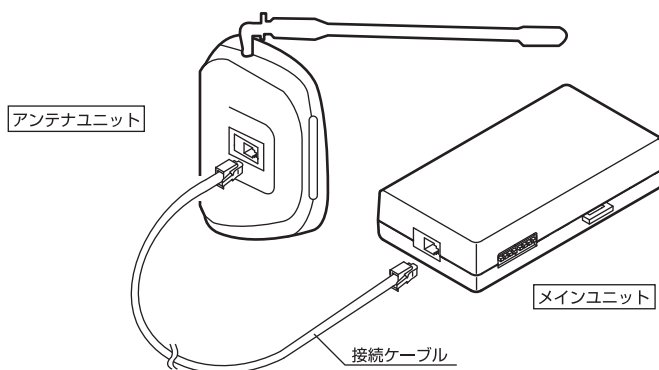
**5** 専用ハーネスの8Pコネクタとメインユニットの8Pコネクタを接続します。  
下記の図①・②・③から専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。



**6** アンテナユニットとメインユニットの接続







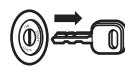

**⚠** アンテナユニットに接続ケーブルを接続する時は、必ずアンテナユニットを固定(P55)して注意 から接続をしてください。

付属接続ケーブルをアンテナユニット底面とメインユニット側面の取付け口に、それぞれ接続してください。

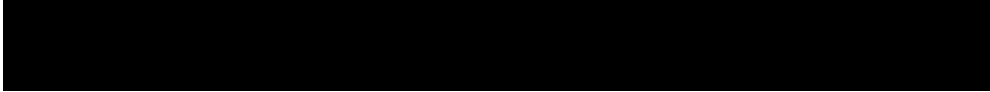


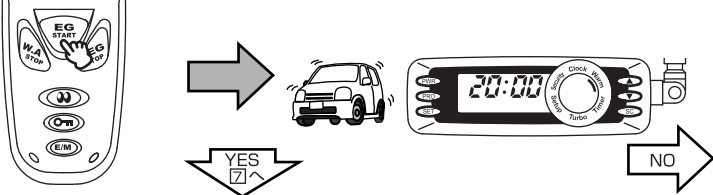

# 取付け (接続)

**!** 取付け・接続後必ず以下の作動確認を行ってください。  
 作動確認前に安全のため、必ずサイドブレーキをかけてください。  
 下記の手順に従って作動確認を行ってください。対処方法は次のページを参照してください。

作動確認手順	対処方法
<p><b>1</b> アンテナユニットとメインユニットのファンクションスイッチを全てOFFにしてください。            ファンクションスイッチ</p>  <p>但し、下記に該当する一部の車種はスイッチをONにしてください。            ①ダイハツムーブの一部車種はリモコンでかけた時、アンテナユニットが表示したままセルがまわらずエンジンが始動しなかったり、ターボタイマーを使用した場合、IGキーを抜いてもアンテナユニットが表示したまま エンジンが停止しない場合があります。その場合はメインユニットのB-1のスイッチをONにしてください。(P16参照)            ②セル始動時、キーシリンダー側の青線(IG2)が0(v)の車種はメインユニットのB-3のスイッチをONにしてください。(P16参照)</p>	
<p><b>2</b> IGキーをACC(アケサリ)の位置まで回してください。</p>  <p>Q:この時、ラジオ等アクセサリ電源のON/OFF操作ができますか？</p> <p>YES <input type="checkbox"/> へ      NO <input type="checkbox"/> へ</p>	<p>P14 <b>A</b></p>
<p><b>3</b> IGキーをONの位置までまわしてください。</p>  <p>Q:この時、メーターパネル等の電源がONになり、アンテナユニットが表示しますか？</p>  <p>YES <input type="checkbox"/> へ      NO <input type="checkbox"/> へ</p>	<p>P14 <b>B</b></p>
<p><b>4</b> IGキーをST(セル)の位置までまわしてください。</p>  <p>Q:この時、エンジンが始動しますか？</p>  <p>YES <input type="checkbox"/> へ      NO <input type="checkbox"/> へ</p>	<p>P14 <b>A</b></p>
<p><b>5</b> IGキーをOFFの位置まで回して、抜いてください。</p>  <p>Q:この時、アンテナユニットの表示が消えて、エンジンが停止しますか？</p>  <p>YES <input type="checkbox"/> へ      NO <input type="checkbox"/> へ</p>	<p>P14 <b>C</b></p>





作動確認手順	対処方法
<p><b>6</b> リモコンのアンテナを伸ばし、リモコンを開けた状態でEG STARTスイッチを押します。</p> <p>Q:この時、アンテナユニットの暖気時間が表示され、エンジンが始動しますか？ (エンジン始動後、アンテナユニットの暖気時間がカウントダウンします。)</p> 	<p>P14 <b>D</b></p>
<p><b>7</b> エンジン始動中にIG-1を入れ、OFFの位置のままフットブレーキを踏み、シフトレバーをパーキング <b>P</b> 又はニュートラル <b>N</b> ポジション以外の位置へ動かします。</p> 	<p>P14 <b>E</b></p>

すべての作動は正常です。一旦IGキーをONまで回せばE-3表示が消灯し、IGキーを抜けば終了です。

## 取付け (接続/対処方法)

- |          |  |
|----------|--|
| <b>A</b> | 1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P9参照)<br>2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P9～11参照)<br>3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？<br>(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)   |
| <b>B</b> | 1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P9参照)<br>2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P9～11参照)<br>3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？<br>(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)<br>4.アースが不安定な場合。<br>→アースをしっかり固定してください。(P10参照)   |
| <b>C</b> | 1.ターボタイマーが作動していませんか？(P32～33参照)   |
| <b>D</b> | 1.エンジンはかかるがすぐ止まり、同じことを2回繰り返す。<br>→L端子配線をしてください。(P19参照)<br>2.受信するがセルがまわらない。アースが不安定ではないですか？<br>→アースをしっかり固定してください。(P10参照)<br>3.セルだけ回ってエンジンがかからない。同じことを1、2回繰り返す。<br>・セル時間が短い可能性があります。<br>→セル時間をもう少し長くしてください。(P34参照)<br>・グロー時間が短い可能性があります。(ディーゼル車の場合)<br>→グロー時間をもう少し長くしてください。(P35参照)<br>4.エンジンがかかってすぐ止まる。アンテナユニットにE-3と表示されていませんか？<br>→シフトポジション検出エラーです。(P15参照)<br>フットブレーキ配線をしてください。(P18参照)<br>5.アンテナユニットが全く受信していないようですか？<br>→IDコードの登録をしてください。(P21) |
| <b>E</b> | フットブレーキ配線をしてください。(P18参照)   |

## 取付け(エラー確認)

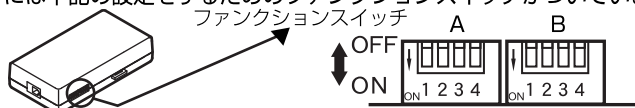
接続後の動作確認を行って下記の表示をした場合のエラー内容と対策/解除方法を表します。

表 示	名称	エラー内容・解除方法
E-1	フットブレーキ検出 エラー	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるか、 IGキーをONの位置までまわしてください。
E-2	ボンネット検出 エラー	OPボンネットセンサー(BE-960)取付時、本 機作動中にボンネットセンサーが働いた状態。 解除するには、IGキーをONの位置までまわし てください。
E-3	シフトポジション検出 エラー	本機作動中にシフトレバーをパーキング[P]又は ニュートラル[N]以外に動かしてエンジンがストッ プした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるか IGキーをONの位置までまわしてください。 また、リモコンでエンジンがかからず、この表示 になる場合は、フットブレーキ配線(P18)が必要 です。
E-4	Pポジション検出(OP) エラー	オプションPポジション配線をした場合、本機 作動中にシフトレバーをパーキング[P]以外に 動かしてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせる かIGキーをONの位置までまわしてください。
E-5	カーテシ検出 エラー	カーテシ配線(P40)した場合、本機作動中にド アを開いてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、IGキーをONの位置までまわし てください。
E-6	IG ON 未検出 エラー	本機作動中にIGキーをONまでまわさずにACC で止めてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせる か、IGキーをONの位置までまわしてください。
E-7	リレー溶着 エラー	リレーユニットのリレーが溶着しています。 弊社サービス部(0561)36-5654までご連 くください。
E-8	L端子配線違い エラー	L端子以外の線に間違っで配線した時の状態。 解除するには正しく配線をして、その後再度リ モコンでスタートさせるか、IGキーをONの位 置までまわしてください。

## 取付け (メインユニットについて)

### ■メインユニットについて

メインユニットには下記の設定をするためのファンクションスイッチがっています。



A	スイッチの働き	内容	OFF	ON
1	オプションPポジション検出(注意1)	Pポジション線の電圧が0(V)の車はONにします。12(V)の場合とPポジション線をとらない場合はOFFにします。	12V	0V
2	未使用			
3	セル時間延長(0.5秒)	エンジンを始動する前にセルを止めてしまう車輦はONにします。(自動検出のみ有効)	使用しない	使用する
4	未使用			

B	スイッチの働き	内容	OFF	ON
1	IG入力検出の選択(注意2)	イグニッションキー入力の検出がIG2の車輦はONにします。(通常はOFFにします)	使用しない	使用する
2	フットブレーキ配線	フットブレーキ配線をした場合、必ずONにします。	配線しない	配線する
3	ST(セル出力時のIG2の選択(注意3))	セルをまわしている間、IG2が0(V)になる車はONにします。(P10 3 参照)	12V	0V
4	セルストップ検出(注意4)	L端子を配線する場合はONにしてください。	セルタイム	L端子

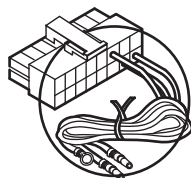


#### 注意

1. アイドリング中シフトレバーがP(パーキング)以外で、イグニッションキーが抜ける車輦はPポジション線を接続します。
2. ダイハツグループの一部車種でリモコンでかけた時、アンテナユニットのパワーランプが点灯したままセルがまわらずエンジンがかからなかったり、ターボタイマーを使用した場合、キーを抜いてもパワーランプが点灯したままエンジンが停止しない場合があります。その場合はスイッチをONにしてください。
3. この設定をしないとABSランプが点灯したり、エンジンがかからない場合があります。(P10 3 参照)
4. ほとんどの車輦はL端子配線した時スイッチをONにします。しかしONにするとセルが短くてエンジンがかからない車輦と、ランドクルーザー80系はL端子の配線をしてOFFのままにしてください。

### ■16Pハーネスについて

メインユニットには下記の線を接続するための16Pコネクタが付属しています。

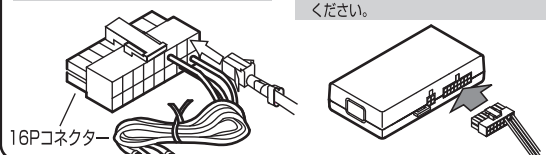


16Pコネクタ

16	15	14	13	12	11	10	9	上側
8	7	6	5	4	3	2	1	下側

#### 取付け方

- ① 付属16Pコネクタに配線する端子をしっかりと差し込みます。  
※差し替えることができませんので注意してください。
- ① 付属16Pコネクタをメインユニットにしっかりと差し込んでください。  
※オプション等を後から取付けする場合は一旦、コネクタを抜いてから接続してください。



### 16Pコネクター接続内容

NO.	内容	NO.	内容
1	フットブレーキ(P18参照)	9	ドアポジション線
2	L端子(P19参照)	10	ドアロック線
3	ボンネットセンサー(オプション)	11	アース(P10)
4	ボンネットセンサー(オプション)	12	オートライト(オプション)
5	カーテシ	13	外部ホーン(オプション)
6	セルカットイモビライザーユニットOFF(紫)(オプション)	14	セルカットイモビライザーユニットON(緑)(オプション)
7	未使用	15	ハザード配線(オプション)
8	ドアアンロック線	16	Pポジション線(オプション)

#### ■フットブレーキ (NO.1)

本機作動中、フットブレーキを踏んだ時の信号を検出します。(P18参照)

#### ■L端子 (NO.2)

エンジン始動信号を検出します。(P19参照)

#### ■ボンネットセンサー (NO.3・4)

当社別売ボンネットセンサー(Be-960)を接続するための端子です。ボンネットが開いている状態ではリモコンでエンジンがかかりません。

#### ■カーテシ (NO.5)

カーテシ端子線を接続するための端子です。リモコンでエンジン作動中、ドアを開けるとエンジンを強制停止できます。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。(P40参照)

#### ■セルカットイモビライザーユニット(NO.6)

当社別売セルカットイモビライザーユニット(Be-969)の紫線を接続するための端子です。

#### ■ドアアンロック線(NO.8)

ドアアンロック端子線を接続するための端子です。(P48～50参照)

#### ■ドアポジション線(NO.9)

ドアポジション端子線を接続するための端子です。(P48～50参照)

#### ■ドアロック線(NO.10)

ドアロック端子線を接続するための端子です。(P48～50参照)

#### ■オートライト(NO.12)

当社別売オートライト線(Be-964)を接続するための端子です。スターターやターボタイマーを使用する時、車のオートライト機能「AUTO」にするとヘッドライトが点灯したままになる車種に必要です。

#### ■外部ホーン(NO.13)

当社別売外部ホーン(Be-971)を接続するための端子です。

#### ■セルカットイモビライザーユニット(NO.14)

当社別売セルカットイモビライザーユニット(Be-969)の緑線を接続するための端子です。

#### ■ハザード配線(NO.15)

当社別売アンサーフラッシュリレー(Be-968)のハザード線を接続するための端子です。

#### ■Pポジション線(NO.16)

当社別売Pポジション線(Be-963)を接続するための端子です。ターボタイマー作動中、シフトレバーがP(パーキング)以外でイグニッションキーが抜ける車種にPポジション線を接続します。

## 取付け (フットブレーキ配線)

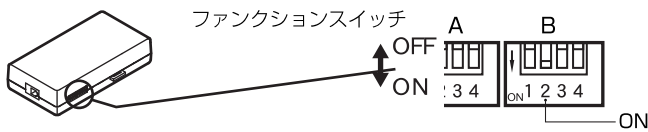
### ⚠️ 注意

次の車種は、シフトポジション検出が正常にできない可能性があります。その場合は、ファンクションスイッチB-2をONにしてシフトポジション検出を無効にしてください。その際、**安全の為必ずフットブレーキ配線を行ってください。**

※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

- ・日産の全ての車種。※但し、Y33系のシーマ、セドリック、グロリアで、パードビューナビゲーション装着車はパーキングブレーキへ配線してください。
- ・スターター作動時または、ターボタイマー作動時シフトレバーをP/N以外の位置へ動かした時にエンジンが止まらない車種。(イグニッションキーがOFFの位置)
- ・シフトレバーがパーキング[]の位置で、リモコンスタート時にアンテナユニットがE-3表示をする場合。
- ・エアバック等の警告ランプが点灯する車種。

**1** メインユニットのファンクションスイッチB-2をONにしてください。

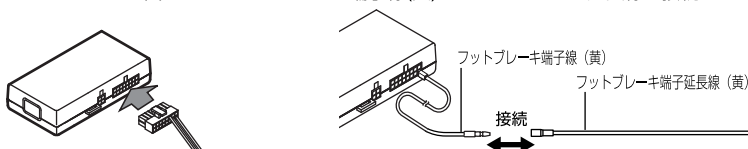


**2** 付属のフットブレーキ端子延長線(黄)をフットブレーキへ配線してください。

フットブレーキを放した状態で 0(v)、踏んだ状態で 12(v) の線に付属のフットブレーキ端子線(黄)をエレクトロタップで接続してください。



**3** メインユニットに16Pコネクタを差し込んでください。16Pハーネスから出ているフットブレーキ端子線(黄)とフットブレーキ延長線を接続してください。



**4** リモコンでエンジン始動中に、フットブレーキを踏んでエンジンが止まるか確認してください。(その時、アンテナユニットの表示がE-1となっているか確認してください。)



## 取付け (L端子検出配線について)

### ■簡略化されたエンジン始動検出 (L端子配線省略可能)

本機には、2種類 (自動検出・L端子検出) のエンジン始動検出方法があります。  
ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。

※自動検出ができなくてL端子の配線を必要とする車種の症状

- ・エンジンがかかったり止まったりをくり返す。
- ・セルが回らないにもかかわらず、アンテナユニットの暖気時間がカウントダウンし、本機作動中となっている。
- ・寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。

又、ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

L端子配線をしない場合は自動検出に設定されます。

以下の手順でL端子配線を行ってください。

#### ⚠ 注意

- ・シフトレバーをパーキング[P]にしてイグニッションキーを抜いてから作業を行ってください。
- ・寒い時にチャージランプが消えない車はL端子配線ができない為、別売のアイドリングセンサー (Be-956L) をお求めください。

**1** エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け本機L端子線 (白) を図の様に室内側からいれてください。

**2** 車のL端子線 (オルタネータの所にあります) まで、本機L端子延長線 (白) を配線してください。

**3** 車のオルタネータにあるL端子を探して下さい。

車側L端子の見分け方

キーの位置	ON (セルまで回さないでONで止める)	ON (セルを回してエンジンをかける)
エンジンの状態	エンジン停止時	エンジン始動時
電圧	4V以下	6V以上

**4** 車のL端子線と本機L端子延長線 (白) を付属のエレクトロタップで接続してください。

**5** メインユニットに16Pコネクターを差し込んでください。16Pハーネスから出ているL端子線 (白) と付属のL端子延長線 (白) を接続してください。

**6** イグニッションキーでエンジンを始動し、アンテナユニットが表示するのを確認後、イグニッションキーをOFFにしてください。

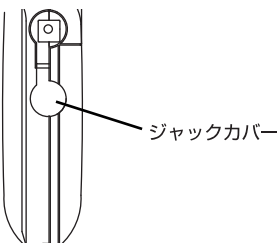
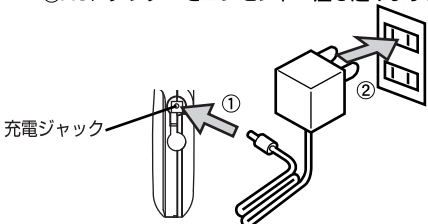
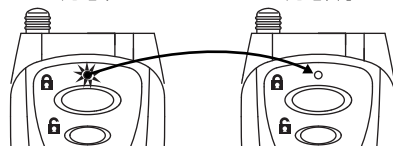
## リモコンの使用法 (ご使用になる前に、電源を入れる/切る)

### ■リモコンをご使用前に

- リモコンの充電方法について

**必ず最初に電源を切ってリモコンを閉じて充電してください。**

本製品をご購入後、初めて使用する場合やリモコンが作動しなくなった場合に付属のACアダプタで充電してください。

<b>1</b> リモコン側面のジャックカバーを外します。 	<b>2</b> ①充電器のプラグをリモコンの充電ジャックに差し込みます。 ②ACアダプターをコンセントへ差し込みます。 
<b>3</b> リモコンの充電確認用ランプが点灯します。 <ul style="list-style-type: none"><li>●充電が終了するとリモコンの充電確認ランプが消灯します。</li><li>●充電時間（めやす）は約250分 リモコンの電源を「切」にして電池が空の状態から充電開始した時の時間です。</li></ul>	

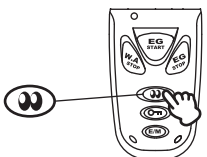
※リモコン連続作動日数は約4日間です。(セキュリティー機能ONの場合)

### ■電源を入れる/切る

出荷時にはリモコン内蔵電池の消耗を押さえる為に電源を「切」にしてあります。ご使用する場合は必ずリモコンの電源を入れてください。

また、出張など長い間リモコンを使用しない場合は必ず、電源を「切」にしてください。

- 電源を入れる/切る方法

<b>1</b> (ON) スイッチを3秒以上押します。  <ul style="list-style-type: none"><li>●電源が入ると、「ビビビ」と音が鳴って液晶表示内容が点灯します。</li></ul>	<b>2</b> 電源を切る時も (OFF) スイッチを3秒以上押します。  <ul style="list-style-type: none"><li>●電源が切れると、「ビビビ」と音が鳴って液晶表示が消灯します。</li></ul>
--	--

※液晶表示ディスプレイについて

リモコンを開いてから約10秒間放置すると自動的に消灯します。



## リモコンの使用法 (IDコード登録について)

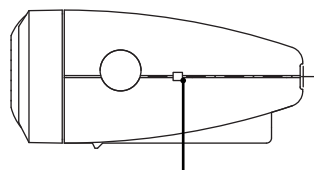
### ■IDコード登録の方法について

リモコンを紛失した場合、新たに購入したリモコンのIDコードをアンテナユニットに再登録することができます。\*再登録すると、前のIDコードは消去されます。 別売リモコン オープン価格

- 1** エンジンを停止して、IGキーをOFFの状態にします。

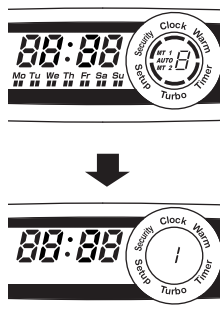


- 2** アンテナユニット側面のリセットスイッチを3秒以上押します。(防犯の為にリモコンのIDコードを消去します。)

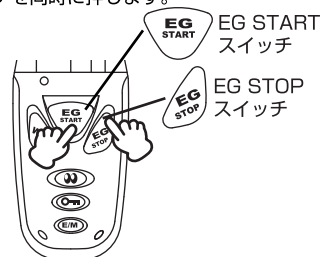


リセットスイッチ

- 3** 液晶表示マークが全点灯した後、「88 88 1」表示に変わります。

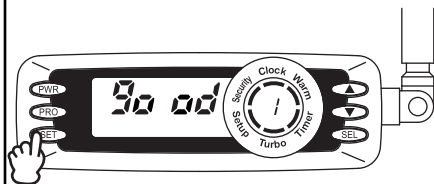


- 4** リモコンのEG STARTスイッチとEG STOPスイッチを同時に押します。



\*30秒間、放置すると、自動的にアンテナユニットは「CLOCK」モードに復帰します。その時のIDコードは前回登録した時のコードです。

- 5** リモコンから「カハレルヤ〜」が鳴りアンテナユニットの表示が「good 1」に変わります。  
(SET) スイッチを押すと登録が終了します。



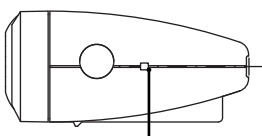

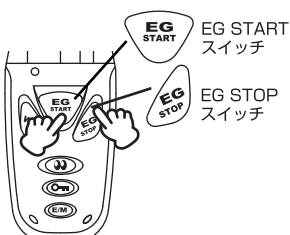
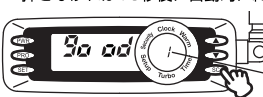


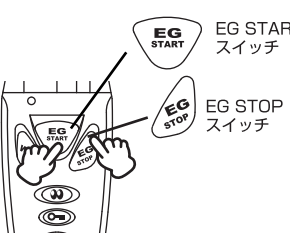

\*15秒放置すると設定が終了します。登録終了後、「CLOCK」モードに復帰します。

## リモコンの使用方法 (リモコンを追加登録する)

### ■IDコード追加登録の方法について

本機は付属のリモコン以外に予備のリモコンを2個持つ事ができます。1台の車を皆で共有しているご家族の方々に最適です。 別売リモコン オープン価格


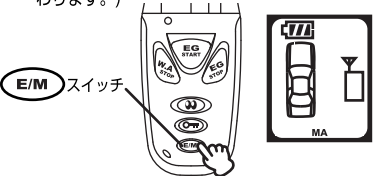
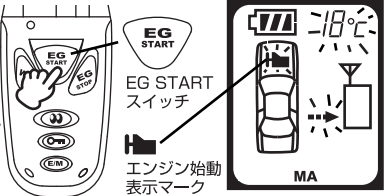
(例) 2つのリモコンを登録する方法

<p><b>1</b> アンテナユニット側面のリセットスイッチを3秒以上押します。(防犯の為にリモコンのIDコードを消去します。)</p>  <p>リセットスイッチ</p>	<p><b>2</b> 液晶表示マークが全点灯した後、「88:88 1」表示に変わります。</p> 
<p><b>3</b> 一つ目のリモコンのEG STARTスイッチとEG STOPスイッチを同時に押します。</p>  <p>EG START スイッチ EG STOP スイッチ</p> <p>一つ目のリモコン</p>	<p><b>4</b> リモコンから「トハレルヤ〜」が鳴りアンテナユニットの表示が「good 1」に変わります。15秒以内にSCスイッチを押します。表示が「88:88 2」に変わります。(SCスイッチを押さなければ15秒後に自動的に終了します。)</p>  <p>一つ目のリモコン登録終了</p>   <p>二つ目のリモコン登録を要求</p>
<p><b>5</b> 二つ目のリモコンのEG STARTスイッチとEG STOPスイッチを同時に押します。</p>  <p>EG START スイッチ EG STOP スイッチ</p> <p>二つ目のリモコン</p>	<p><b>6</b> リモコンから「トハレルヤ〜」が鳴りアンテナユニットの表示が「good 2」に変わります。SETスイッチを押すと終了です。(3秒以上放置しますと自動的に終了します。)</p> <p>初期表示画面は「CLOCK」モードから始まります。</p>  <p>三つ目のリモコンを登録する場合は「good 2」で15秒以内にSCスイッチを押して三つ目のリモコンをIDコード登録します。</p>

## リモコンの使用法 (エンジンをかける)

本機はリモコンでエンジンスタート及び車内温度を表示する事ができます。また暖気時間を自分のお好みの時間に設定するWARMモード(P29)と車内温度によって自動的に暖気時間を設定できるECOモード(下記表)のどちらかを選択する事ができます。

### ●エンジンスタートの方法

<p><b>1</b> リモコンのアンテナを十分に伸ばします。</p> 	<p><b>2</b> リモコンを開けた状態にしてアイドリング時間をマニュアル又はECOモード(下記表)のどちらかを選択します。(E/Mスイッチを押す度にECO→MA→ECOに切り替わります。)</p> 
<p><b>3</b> EG STARTスイッチを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナユニットが受信すると受信マークが約1秒間表示して、「トハレレヤ」がリモコンから鳴ります。</li> <li>●エンジンがかかると「トボレロのテーマ」が鳴り、その時の車内温度を表示します。(EG STARTスイッチを押してから約60秒以内)</li> <li>●車輪側アンテナユニットが受信できないと、リモコンから「トショックな音」が鳴り、表示もしません。その場合はもう一度リモコン操作を行ってください。</li> </ul>	

※車内温度は温度センサーがメインユニットに内蔵されているため、クーラーやヒーターの影響を受け、実際の温度とは異なる事があります。

### ■ECOモードアイドリング時間設定表

ECOモードとは、内蔵温度センサーが車内温度を感知して、自動的にアイドリングの時間を設定するモードです。

車内温度(°C)	アイドリング時間(分)	車内温度(°C)	アイドリング時間(分)
60～	40	10～ 15	10
55～ 60	35	5～ 10	15
50～ 55	30	0～ 5	20
45～ 50	25	0～- 5	25
40～ 45	20	- 5～-10	30
35～ 40	15	-10～-15	35
30～ 35	10	-15～	40
15～ 30	5		

例)車内温度が-3°Cの場合、25分間アイドリングして、停止します。

※アイドリング時間はあくまでも目安値となります。使用環境や内部電子部品の特性によって多少の誤差があります。

## リモコンの使用法 (エンジンを止める)

本機はリモコンでエンジン始動中、又はターボタイマー作動中にリモコンでエンジンを停止させる事ができます。

### ●エンジンのストップの方法

**1** リモコンのアンテナを十分に伸ばします。



**2** リモコンを開けた状態にします。



**3** EG STOPスイッチを押します。

- アンテナユニットが受信すると受信マークが約1秒間表示して、「トハレルヤ」がリモコンから鳴ります。

エンジンが停止します。

- 車輻側アンテナユニットが受信できないと、リモコンから「トショックな音」が鳴り、表示もしません。その場合はもう一度リモコン操作を行ってください。



## リモコンの使用法 (エンジンの始動状態を確認する)

本機は車輛のエンジン始動状態や車内温度をリモコンで確認できます。

### ●エンジン始動状態の確認方法


**1** リモコンのアンテナを十分に伸ばします。



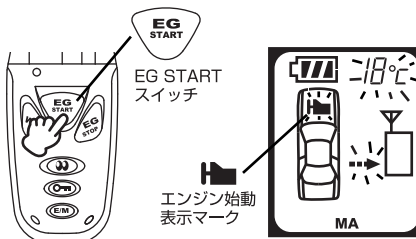
**2** リモコンを開けた状態にします。



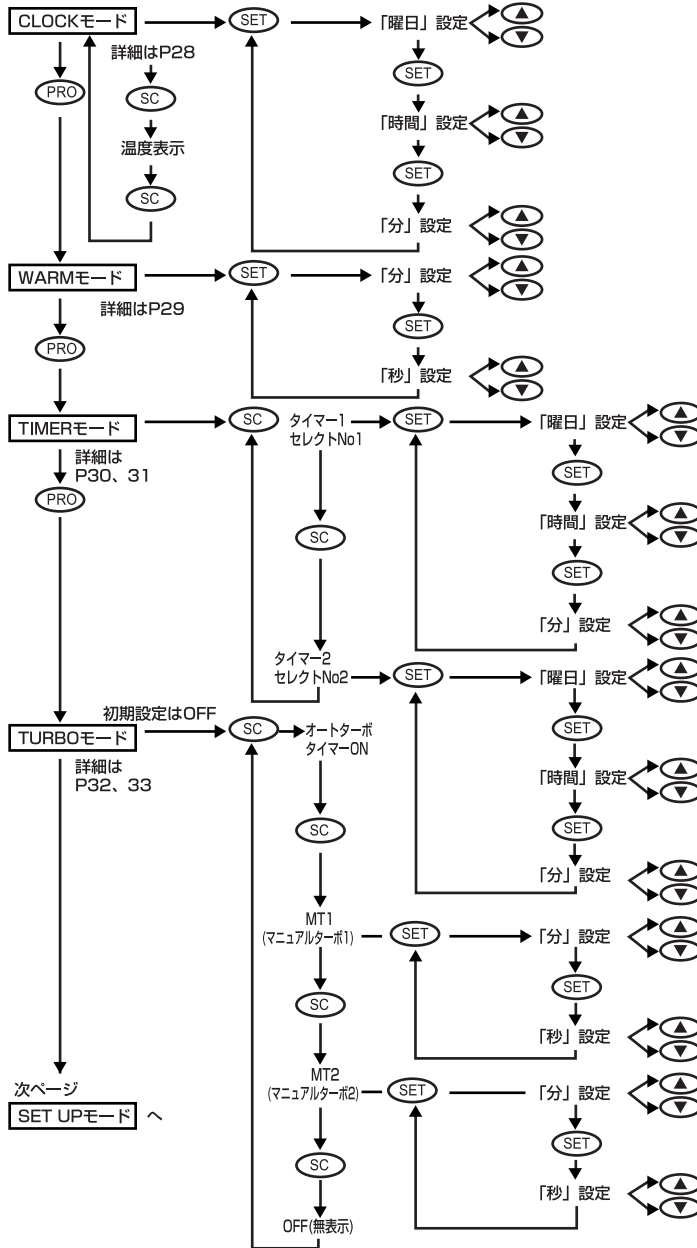
**3**  EG STARTスイッチを押します。

- アンテナユニットが受信すると受信マークを表示して、エンジンが始動していると「トボレロのテーマ」が鳴り、 エンジン始動表示マークが点灯します。その時車内温度を表示します。(※車内温度は温度センサーがメインユニットに内蔵されているため、クーラーやヒーターの影響を受け、実際の温度とは異なる事があります。)

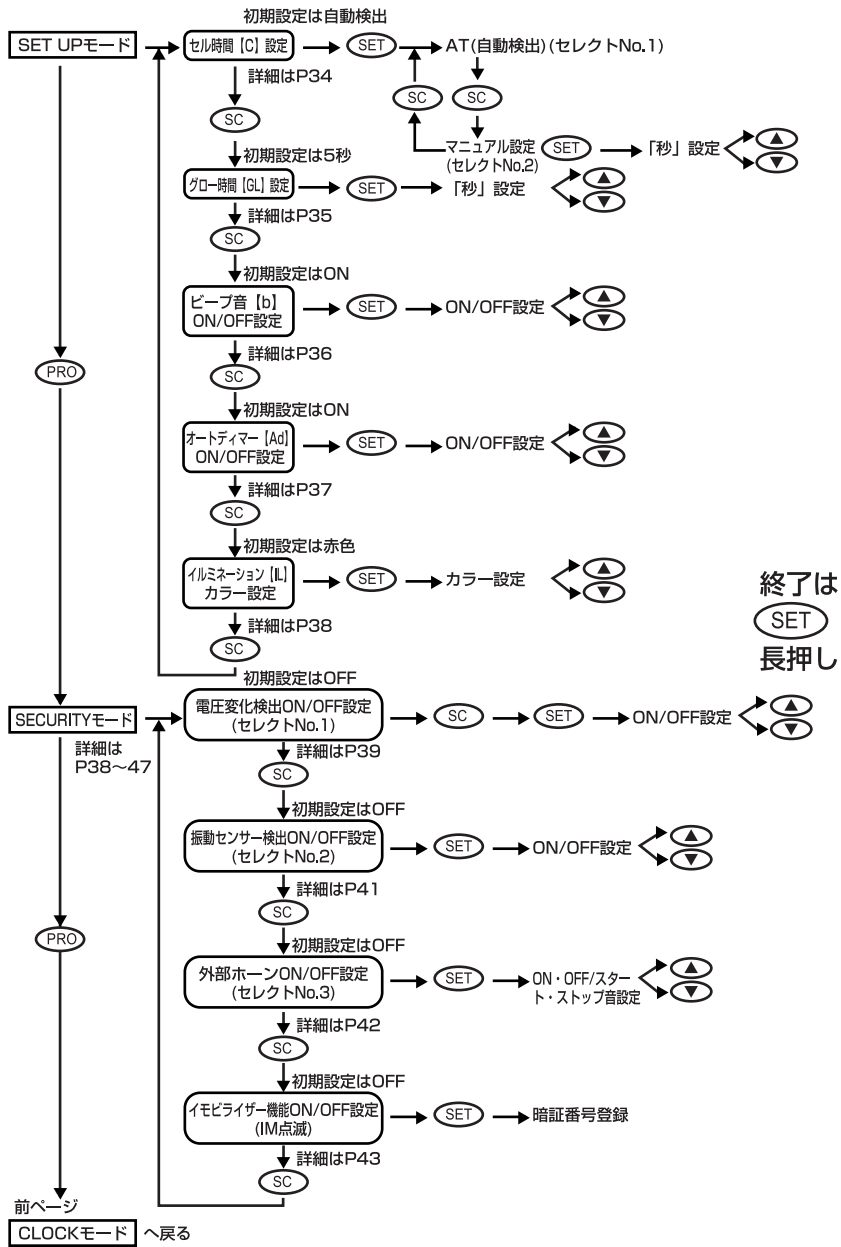
- 車輛側アンテナユニットが受信できないと、リモコンから「トショックな音」が鳴り、表示もしません。その場合はもう一度リモコン操作を行ってください。



# アンテナユニットの操作方法 (操作手順)



終了は  
 SET  
 長押し




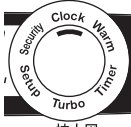
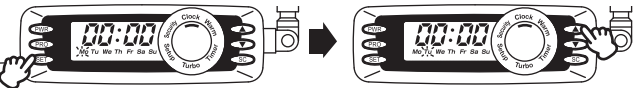
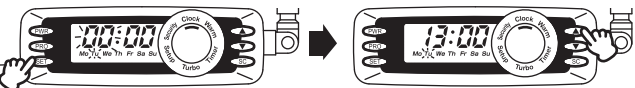
# アンテナユニットの操作方法 (時計表示設定 [CLOCKモード] について)

## ■時計表示設定 [CLOCKモード] について

アンテナユニットで現在の曜日と時刻(24時間制)を表示できます。

## ●時計表示設定 [CLOCKモード] 方法

例:火曜日の午後1:30(13:30)にセットする場合

<p><b>1</b> イグニッションキーをONの位置にします。</p>	
<p><b>2</b> アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スイッチを押して電源をONにしてください。</p>	 <p>※ディスプレイはウォーム時間を表示しています。</p>
<p><b>3</b> (PRO) スイッチを押してCLOCKモードに合わせます。</p>	<p>CLOCKモード</p>   <p>拡大図</p> <p>※IDコード登録後、最初はCLOCKから始まります。(PRO) スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。</p>
<p><b>4</b> (SET) スイッチを押してMoマークを点滅させます。(▲)スイッチを押し、「Tu」を点滅させます。</p>	
<p><b>5</b> (SET) スイッチを押して時間の桁を点滅させます。(▲)スイッチを押し、「13」を表示します。</p>	
<p><b>6</b> (SET) スイッチを押して分の桁を点滅させます。(▲)スイッチを押し、「30」を表示します。</p>	
<p><b>7</b> 設定を終了するには (SET) スイッチを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音が「ピー」と鳴り、終了します。「Tu」が常時点滅します。</p>	




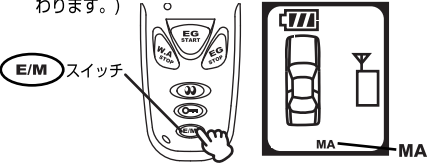


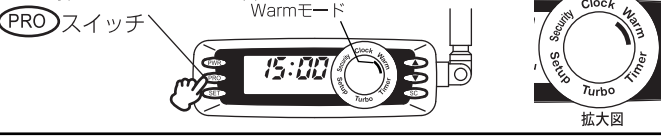
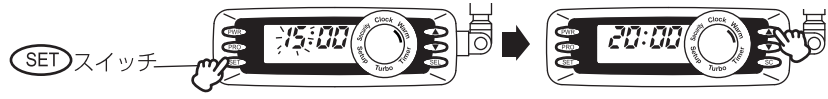
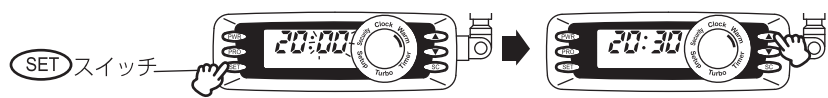

## アンテナユニットの操作方法 (暖気時間設定【WARMモード】について)

### ■暖気時間設定【WARMモード】について

リモコンでエンジン始動時の暖気時間を10~59分59秒までお好みの設定ができます。(リモコンMA【マニュアル】設定のみ有効)

### ■暖気時間設定【WARMモード】方法

例:20分30秒にセットする場合

<p><b>1</b> リモコンのアンテナを十分に伸ばします。</p> 	<p><b>2</b> リモコンを開けた状態にしてアイドリング時間をMA(マニュアル)に選択します。 (E/M)スイッチを押す度にECO→MA→ECOに切り替わります。)</p> 
<p><b>3</b> イグニッションキーをONの位置にします。</p> 	
<p><b>4</b> アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの(PWR)スイッチを押して電源をONにしてください。</p>  <p>※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。</p>	
<p><b>5</b> (PRO)スイッチを押してWarmモードに合わせます。</p>  <p>拡大図</p>	
<p><b>6</b> (SET)スイッチを押して時間の桁を点滅させます。(▲)スイッチを押し、「20」を表示します。 ※工場出荷時は15分に設定されています。</p> 	
<p><b>7</b> (SET)スイッチを押して分の桁を点滅させます。(▲)スイッチを押し、「30」を表示します。</p> 	
<p><b>8</b> 設定を終了するには (SET)スイッチを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音が「ピー」と鳴り、終了します。</p> 	

# アンテナユニットの操作方法 (タイマースタート設定 [TIMERモード] について)

## ■タイマースタート設定 [TIMERモード] について

各曜日ごとに1日2回まで設定した時刻にタイマースタートする事ができます。

## ●タイマースタート設定 [TIMERモード] 方法

例:水曜日の7:30(タイマー1)と18:00(タイマー2)にタイマースタートセットする場合

1	イグニッションキーをONの位置にします。	
2	アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スイッチを押して電源をONにしてください。	
3	(PRO) スイッチを押してTIMERモードに合わせます。	
4	(SC) スイッチを押してセレクトNo. 「1」 を点滅させます。	
5	(SET) スイッチを押して曜日マークを点滅させます。(UP/DOWN) スイッチを押し、「We」を点滅させます。	
6	(SET) スイッチを押して時間の桁を点滅させます。(UP/DOWN) スイッチを押し、「7」を表示します。	
7	(SET) スイッチを押して分の桁を点滅させます。(UP/DOWN) スイッチを押し、「30」を表示します。	
8	(SET) スイッチを2秒以上押し、電子音が「ピー」と鳴り、「We」の下にタイマー1マークが点灯します。	

**9** 次にタイマー2の設定をします。**SC** スイッチを押してセレクトNo.「2」を点滅させます。



**10** **SET** スイッチを押して「Mo」マークを点滅させます。**▲**スイッチを押し、「We」を点滅させます。



**11** **SET** スイッチを押して時間の桁を点滅させます。**▲**スイッチを押し、「18」を表示します。



**12** **SET** スイッチを押して分の桁を点滅させます。**▲**スイッチを押し、「00」を表示します。



**13** **SET** スイッチを2秒以上押すと、電子音が「ピー」と鳴り、「We」の下に、タイマー2マークが点灯します。

※0:00に設定すると、タイマー予約確認マークを消灯できます。  
(タイマー1,2両方)



### ■タイマー予約キャンセル機能について

タイマー予約を全てキャンセルするタイマー予約キャンセル機能を採用しています。

**1** **SC** スイッチを2秒以上押してください。タイマー予約確認マークが全て消灯すれば、タイマーキャンセル完了です。



- ※1タイマーキャンセルはTIMERモード以外は操作できません。
- 2タイマースタート機能を復帰させたい場合はTIMERモードに合わせてもう一度、**SC** スイッチを2秒以上押してください。
- 3.タイマーキャンセル中にタイマー予約をして、タイマースタート機能を復帰させた場合、キャンセル中に予約した設定時間はキャンセルされます。

## アンテナユニットの操作方法 (ターボタイマー設定 [TURBOモード] について)

### ■ターボタイマーについて

本機はターボ車に必要な走行後のアフターアイドルリングを行い、ターボチャージャーを保護するターボタイマー機能を採用しています。

ターボタイマー機能は2通りの時間を任意設定可能なマニュアルモードとターボタイマー時間を自動的に算出するオートモードの3通りのどれかを選択する事ができます。

### ●オートモード(AUTO)の設定方法

本機はターボタイマーの時間を自動的に算出し時間設定するオートターボタイマー機能を採用しています。

走行時間	アフターアイドルリング時間
0～15分間	約30秒
15～30分間	約1分
30分～1時間	約2分
1時間～2時間	約3分
2時間以上	約5分

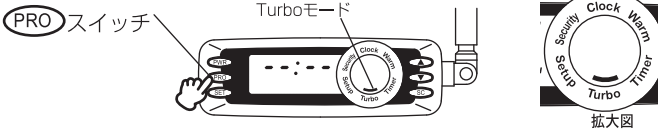
1 イグニッションキーをONの位置にします。



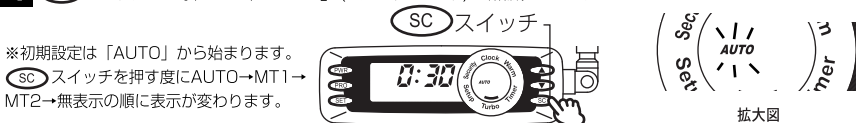
2 アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スイッチを押して電源をONにしてください。



3 (PRO) スイッチを押してTurboモードに合わせます。



4 (SC) スイッチを押して「AUTO」(オートターボ)を点滅させます。



5 設定を終了するには (SET) スイッチを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音が「ピー」と鳴り、終了します。


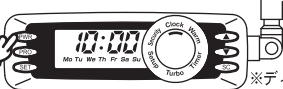
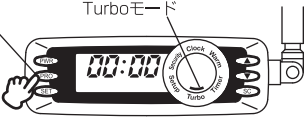

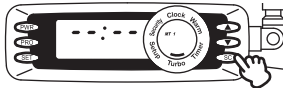
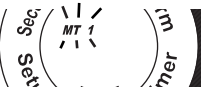

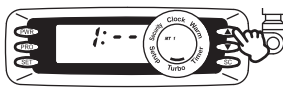





## ■マニュアルモード(MT1/MT2)について

本機はマニュアルターボタイマー時間を2通り(MT1/MT2)設定できます。

### ●マニュアルモード設定方法

例:MT1(マニュアルタイマー1)を1分に設定する場合。

<p><b>1</b> イグニッションキーをONの位置にします。</p>	
<p><b>2</b> アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの(PWR)スイッチを押して電源をONにしてください。</p>	 <p>※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。</p>
<p><b>3</b> (PRO)スイッチを押してTurboモードに合わせます。</p>	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <p>拡大図</p> </div>
<p><b>4</b> (SC)スイッチを押して「MT1」(マニュアルターボ1)を表示させます。</p> <p>※初期設定は「AUTO」から始まります。 (SC)スイッチを押す度にAUTO→MT1→MT2→無表示の順に表示が変わります。</p>	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <p>拡大図</p> </div>
<p><b>5</b> (SET)スイッチを押して分の桁を点滅させます。(▲)スイッチを押し、「1」を表示します。</p>	 
<p><b>6</b> (SET)スイッチを押して秒の桁を点滅させます。(▲)スイッチを押し、「00」を表示します。</p>	 
<p><b>7</b> 設定を終了するには (SET)スイッチを2秒以上押し、約15秒間放置すれば電子音が「ピー」と鳴り、終了します。「MT2」を設定する場合は同じ要領で設定できます。</p>	

### ■ターボタイマー作動中止方法

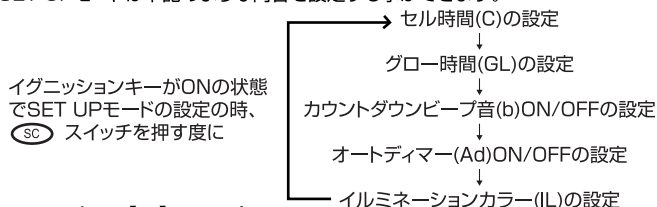
ターボタイマー作動中、下記動作のいずれかをする、とエンジンを緊急停止することができます。

- 1.操作部の(PWR)スイッチをOFFにする。
- 2.リモコンのEG STOPスイッチを押す。
- 3.フットブレーキを踏む(フットブレーキ配線時のみ)

# アンテナユニットの操作方法 (セル時間 [C] の設定)

## ■SET UPモード概要

SET UPモードは下記のような内容を設定することができます。


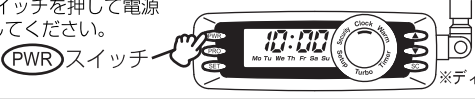
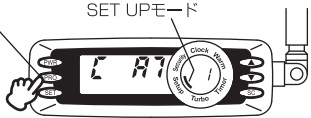

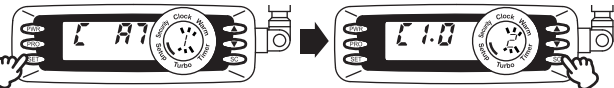
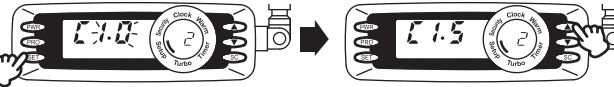
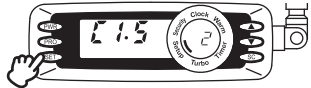


## ■セル時間 [C] の設定

リモコンでエンジン始動時のセル時間(オート/マニュアル0.5~2.5秒 0.1秒間隔)を設定できます。オート設定にするとリモコンでエンジンをかけた場合、エンジンがかかった時の電圧変化又はL端子配線している場合はL端子出力を検出して自動的にセルを止めます。マニュアル設定にすると、設定した時間までセルを回します。(オート又はマニュアルどちらか設定)※工場出荷時はオートに設定しています。

## ●セル時間 [C] の設定方法

例:セル時間を1.5秒に設定する場合

<p><b>1</b> イグニッションキーをONの位置にします。</p>	
<p><b>2</b> アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにしてください。</p>	 <p>※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。</p>
<p><b>3</b> PRO スイッチを押してSET UPモードに合わせます。</p> <p>※最初はC(セル時間)から始まります。 PRO スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。</p>	 <p>SET UPモード</p>  <p>拡大図</p>
<p><b>4</b> SET スイッチを押してセレクトNo.「1」を点滅させます。SC スイッチを押し、セレクトNo.「2」を点滅させます。</p>	
<p><b>5</b> SET スイッチを押して「1.0」を点滅させます。▲/▼スイッチを押し、「1.5」を表示します。</p> <p>※0.5秒~2.5秒の間で0.1秒単位で設定できます。</p>	
<p><b>6</b> 設定を終了するには SET スイッチを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音が「ピー」と鳴り、終了します。</p>	



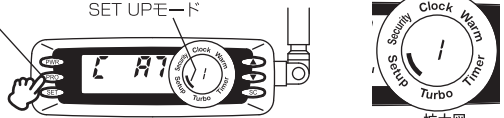

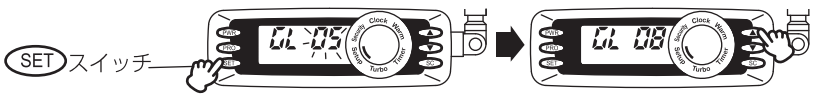
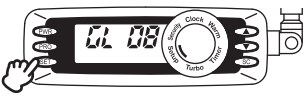
## アンテナユニットの操作方法 (グロー時間 [GL] の設定)

### ■グロー時間 [GL] の設定

グロー時間(5~10秒まで1秒単位で設定)を設定できます。※工場出荷時グロー時間は5秒に設定しています。

### ●グロー時間 [GL] の設定方法

例:グロー時間を8秒に設定する場合

<p><b>1</b> イグニッションキーをONの位置にします。</p>	
<p><b>2</b> アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スイッチを押して電源をONにしてください。</p>	 <p>※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。</p>
<p><b>3</b> (PRO) スイッチを押してSET UPモードに合わせます。</p> <p>※最初はC(セル時間)から始まります。 PROスイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。</p>	 <p>拡大図</p>
<p><b>4</b> (SC) スイッチを押して「GL」(グロー時間設定)を表示させます。</p> <p>※工場出荷時は5秒に設定しています。</p>	
<p><b>5</b> (SET) スイッチを押して「05」を点滅させます。(▲)スイッチを押し、「08」を表示させます。</p>	
<p><b>6</b> 設定を終了するには (SET) スイッチを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音がビーと鳴り終了します。</p> <p>※設定を終了すると、セル時間(c)の設定に戻ります。</p>	


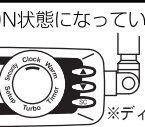
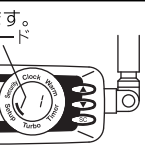
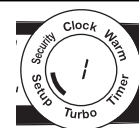
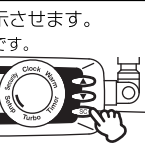
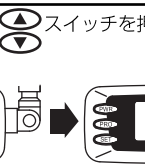
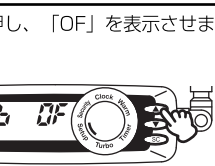
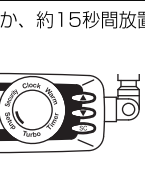
## アンテナユニットの操作方法 (ビープ音 [b] の設定)

### ■ビープ音 [b] の設定

リモコンでのエンジン始動やターボタイマー作動中のカウントダウンのビープ音をON/OFF設定できます。

### ●ビープ音 [b] の設定方法

例:ビープ音をOFFにする場合(工場出荷時はONに設定)

<p><b>1</b> イグニッションキーをONの位置にします。</p>	
<p><b>2</b> アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スイッチを押して電源をONにしてください。</p>	 <p>※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。</p>
<p><b>3</b> (PRO) スイッチを押してSET UPモードに合わせます。 SET UPモード ※最初はC(セル時間)から始まります。 (PRO) スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。</p>	  <p>拡大図</p>
<p><b>4</b> (SC) スイッチを押して「b」(ビープ音設定)を表示させます。 ※最初は「On」から始まります。On→OFF→Onの繰り返しです。</p>	 <p>(SC) スイッチ</p>
<p><b>5</b> (SET) スイッチを押して「ON」を点滅させます。(▲) スイッチを押し、「OF」を表示させます。</p>	 
<p><b>6</b> 設定を終了するには (SET) スイッチを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音が「ビー」と鳴り、終了します。 ※設定終了すると、セル時間(c)の設定に戻ります。</p>	



## アンテナユニットの操作方法 (オートディマー機能【Ad】の設定)

### ■オートディマー機能【Ad】の設定


本機はアンテナユニットのバックライト照明の明るさを時刻によって自動で調整するオートディマー機能を採用しています。\*工場出荷時はオートディマー機能はONに設定しています。


バックライト照明の明るさ	時刻
明るい	午前6時~午後5時59分
半減	午後6時~午前5時59分

### ●オートディマー機能【Ad】の設定方法

例:オートディマー機能をOFFにする場合(オートディマー機能をOFFにすると、バックライト照明は時刻に関係なく常に明るくなります。)


- 1** イグニッションキーをONの位置にします。


- 2** アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スイッチを押して電源をONにしてください。




※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。
- 3** (PRO) スイッチを押してSET UPモードに合わせます。


SET UPモード




※最初はC(セル時間)から始まります。スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。




拡大図
- 4** (SC) スイッチを押して「Ad」(オートディマー設定)を表示させます。


- 5** (SET) スイッチを押して「ON」を点滅させます。(▲)スイッチを押し、「OF」を表示させます。

※最初は「On」から始まります。On→OFF→Onの繰り返しです。


- 6** 設定を終了するには (SET) スイッチを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音が「ピー」と鳴り、終了します。

※設定を終了すると、セル時間(C)の設定に戻ります。





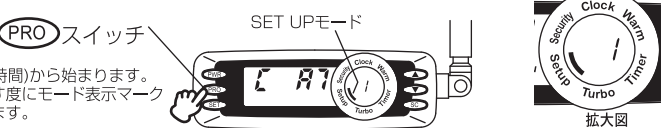

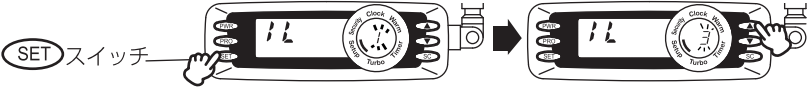

## アンテナユニットの操作方法 (イルミネーション機能【IL】の設定)

### ■イルミネーション機能【IL】の設定

本機はアンテナユニットのバックライト照明の色を赤、緑、橙の3種類から選択できます。車輦に合わせてお好みの色を選択してください。※工場出荷時は、赤に設定しています。

### ●イルミネーション機能【IL】の設定方法

例: アンテナバックライト照明の色を橙にする場合

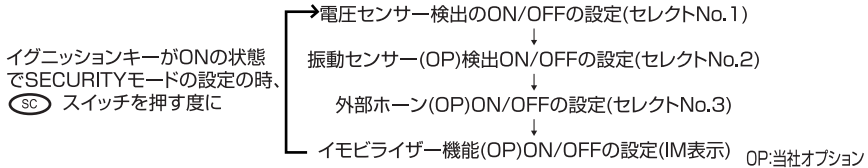
<p><b>1</b> イグニッションキーをONの位置にします。</p>	
<p><b>2</b> アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スイッチを押して電源をONにしてください。</p>	 <p>※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。</p>
<p><b>3</b> (PRO) スイッチを押してSET UPモードに合わせます。</p> <p>※最初はC(セル時間)から始まります。スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。</p>	 <p>拡大図</p>
<p><b>4</b> (SC) スイッチを押して「IL」(イルミネーション設定)を点滅させます。</p>	
<p><b>5</b> (SET) スイッチを押してセレクトNo.「1」を点滅させます。(▲)スイッチを押し、セレクトNo.「3」を点滅させます。</p> <p>※最初はセレクトNo.「1」(赤色)から始まります。1(赤色)→2(緑色)→3(橙色)の順に変わります。</p>	
<p><b>6</b> 設定を終了するには (SET) スイッチを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音が「ピー」と鳴り、終了します。</p> <p>※設定を終了すると、セル時間(c)の設定に戻ります。</p>	

## 機能説明 (セキュリティー機能 [SECURITYモード] について/ 電圧センサー検出の設定)

### ■セキュリティー機能 [SECURITYモード] について

本機には車輻に何か異常があるとリモコンにお知らせするセキュリティー機能を採用しています。また、様々な当社オプションを接続する事によってシステムアップさせ、防犯性を高める事が可能です。



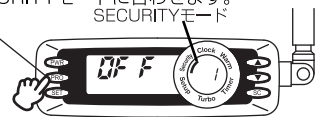
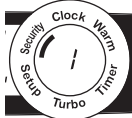
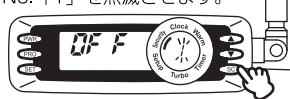

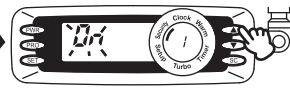

SECURITYモードは下記のような内容を設定する事ができます。



### ■電圧センサー検出の設定

車輻のドアが開いた時のルームランプの電圧変化を検出してリモコンへお知らせします。

#### ●電圧センサー検出ON/OFFの設定方法

- 1 イグニッションキーをONの位置にします。
 
- 2 アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにしてください。
 
 ※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。
- 3 PRO スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。SECURITYモード
 

 拡大図
- 4 SC スイッチを押してセレクトNo.「1」を点滅させます。
 
- 5 SET スイッチを押して「OFF」を点滅させます。▲ スイッチを押し、「On」を点滅させます。  
※最初は「OFF」から始まります。OFF→On→OFFの順に変わります。
 
 →
 
- 6 設定を終了するには SET スイッチを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音がピーと鳴り終了します。
 

## 機能説明 (セキュリティ機能 [SECURITYモード] について/ 電圧センサーの調節/カーテシ検出の設定)

### ■電圧センサーの調節について

一部車種でドアオープン時にリモコンへ警報しない車種があります。その場合は車内ルームランプ点灯時の電圧変化が少ない為メインユニットの電圧センサーボリュームを調節することにより警報できるように調整します。

### ●電圧センサーのボリューム調節方法

- 1** メインユニット側面の電圧センサーボリュームを調整します。



※ボリュームを右(Hi)限界まで回すと、わずかな電圧変化にも敏感に反応するようになり、誤作動で警報する可能性があります。

- 2** リモコンのドアロックスイッチを押し、セキュリティ機能をスタートさせます。詳しくはP44「セキュリティ機能をスタート/ストップさせる」を参照してください。

セキュリティ  
スタート&  
ドアロックスイッチ

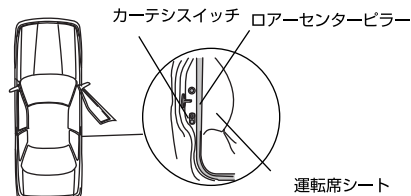


車輛のドアを開けて、ルームランプが点灯し、リモコンで警報すれば終了です。

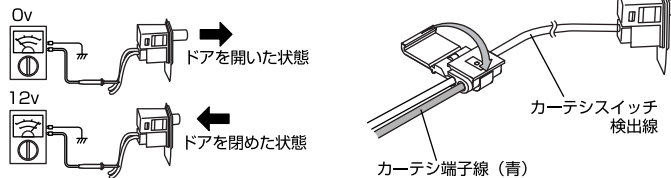
### ■カーテシ検出の設定

上記電圧センサーボリュームで調整をしてもドアオープン時、リモコンへ警報しない場合は、車輛カーテシ線に直接配線する必要があります。

- 1** 運転席側ロアセンターピラーのカバーをはずします。

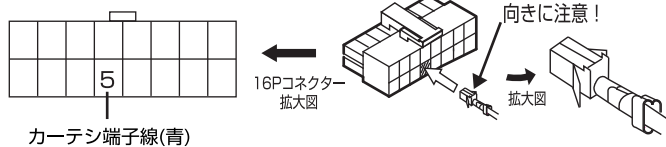


- 2** 車輛側カーテシ検出線をテスター等で探し、カーテシ端子線(青)と車輛側カーテシ検出線をエレクトロタップで接続します。

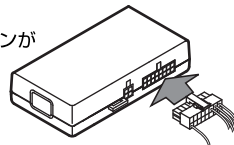


- 3** 16PコネクターのNo.5にカーテシ端子線(青)をしっかりと差し込んでください。

※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。








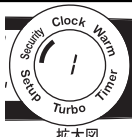






- 4** メインユニットにコネクターを差し込んでください。リモコンでエンジン始動中、ドアを開けて約15秒後にエンジンが停止するか確認してください。(その時アンテナユニット表示部がE-5を表示します)



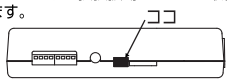

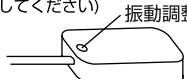
## 機能説明 (セキュリティー機能 [SECURITYモード] について / OP拡張振動センサー検出ON/OFF設定)

■ オプション拡張振動センサー2(SS-053)検出のON/OFF設定について  
 車輻に衝撃が加わった時の振動を検出して、リモコンへお知らせします。

### ● オプション拡張振動センサー2(SS-053)検出のON/OFF設定方法

<b>1</b>	イグニッションキーをONの位置にします。 
<b>2</b>	アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの(PWR)スイッチを押して電源をONにしてください。 (PWR)スイッチ   ※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。
<b>3</b>	(PRO)スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。 (PRO)スイッチ   SECURITYモード  拡大図
<b>4</b>	(SC)スイッチを押してセレクトNo.「2」を点滅させます。 (SC)スイッチを押す度に、1→2→3→IMの順に表示が変わります。   (SC)スイッチ
<b>5</b>	(SET)スイッチを押して「OFF」を点滅させます。(UP/DOWN)スイッチを押して、「On」を点滅させます。 ※最初は「OFF」から始まります。OFF→On→OFFの順に変わります。 (SET)スイッチ    (UP/DOWN)スイッチ
<b>6</b>	設定を終了するには (SET)スイッチを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音がピーと鳴り終了します。 ※設定終了するとセレクトNo.1に戻ります。 

### ■ オプション拡張振動センサー2の取付け

<b>1</b> オプション拡張振動センサー2から出ているコネクターを本機メインユニットの拡張振動センサー2取付けコネクターに接続します。 	<b>2</b> オプション拡張振動センサー2を車輻に固定します。  車輻に固定
<b>3</b> リモコンのドアロックスイッチを押し、セキュリティーモードをスタートさせます。詳しくはP44「セキュリティーモードをスタート/ストップさせる」を参照してください。	<b>4</b> 拡張振動センサー2の衝撃感度を調整してください。(詳細はオプション拡張振動センサー2取扱説明書5番を参照してください) 振動調整ボリューム 

## 機能説明 (セキュリティ機能【SECURITYモード】について/ OP外部ホーン警報)

### ■車輦より警報を鳴らす

電圧センサーや振動センサーを車輦にて異常警報を行うにはオプション外部ホーンBe-971が必要です。

車輦の電圧センサーや振動センサーの異常を検出した時、警報を鳴らし、不審者に対して威嚇する事ができます。また、リモコンで防犯スタート、ストップを行った時に、確認音を鳴らす事もできます。

#### 外部ホーンの警報音の選択について

状態	警報	スタート/ストップ確認音
OFF	鳴らさない	鳴らさない
On-1	鳴らす	鳴らす
On-2	鳴らす	鳴らさない


●警報中の外部ホーンを止めるには下記のいずれかを行ってください。


- ・リモコンのWarning Alarm STOPスイッチを押す。
- ・セキュリティストップ&ドアアンロックスイッチを押す(※スイッチを押すと同時にアンロックもされます。)
- ・IGキーをONまで回す。

### ●外部ホーンの設定方法



例:On-1 リモコンでスタート/ストップ時、電圧変化・振動検出時外部ホーンを鳴らす設定にする場合

- 1 イグニッションキーをONの位置にします。



- 2 アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スwitchを押して電源をONにしてください。



※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。
- 3 (PRO) スwitchを押してSECURITYモードに合わせます。SECURITYモード





拡大図
- 4 (SC) スwitchを押してセレクトNo「3」を点滅させます。



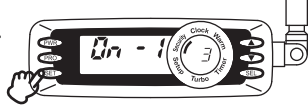
(SC) スwitch
- 5 (SET) スwitchを押して「OFF」を点滅させます。(UP/DOWN) スwitchを押して、「On-1」を表示します。

※最初は「OFF」から始まります。OFF→On-1→On-2の順に変わります。



(SET) スwitch
- 6 設定を終了するには (SET) スwitchを2秒以上押すか、約15秒間放置すれば電子音がピーと鳴り終了します。

※設定終了するとセレクトNo1に戻ります。



### ■オプション外部ホーンの取付け

メインユニットの16PコネクターNO.13(外部ホーン入力)にオプション外部ホーンを接続します。(詳しくはオプション外部ホーン取扱説明書をお読みください)





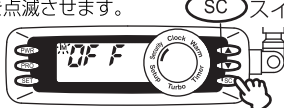



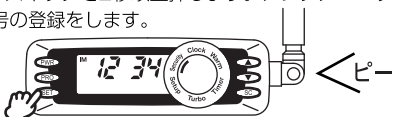
## 機能説明 (セキュリティー機能 [SECURITYモード] について/ イモビライザー機能を解除するための暗証番号登録)

### ■イモビライザー機能を解除するための暗証番号登録

イモビライザー機能が作動中、リモコンを紛失しても本機に暗証番号を登録する事で解除できるイモビライザー解除機能を採用しています。※暗証番号を登録しないとイモビライザー機能は使用できません。

**OPセルカットイモビライザーユニット(Be-969)を接続しなければ暗証番号を登録する必要はありません。**

#### ●暗証番号の登録方法 最初にお好みの暗証番号を登録します。

<p><b>1</b> イグニッションキーをONの位置にします。</p>	
<p><b>2</b> アンテナユニットの電源がON状態になります。ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スイッチを押して電源をONにしてください。</p>	 <p>※ディスプレイはCLOCK時間を表示しています。</p>
<p><b>3</b> (PRO) スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。</p> <p>SECURITYモード</p> <p>※最初はCLOCKから始まります。(PRO) スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。</p>	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <p>拡大図</p> </div>
<p><b>4</b> (SC) スイッチを押して「IM」を点滅させます。</p> <p>(SC) スイッチを押す度に、1→2→3→IMの順に表示が変わります。</p>	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <p>拡大図</p> </div>
<p><b>5</b> 任意の暗証番号4桁(例1234)を入力します。</p> <p>(SET) スイッチを押して一番左の桁を点滅させます。</p> <p>※最初は0000から始まります。</p>	
<p><b>6</b> (▲) スイッチで最初の桁を「1」と選択し、順に「2」、「3」、「4」と全ての桁を入力します。</p> <p>※暗証番号を0000にする事はできません。</p>	
<p><b>7</b> 4桁全て入力し終わったら、(SET) スイッチを2秒以上押します。アンテナユニットからイモビライザー解除信号が出力され、暗証番号の登録をします。</p>	

### ■イモビライザー機能の解除方法


上記、**1** ~ **5** までの動作を行ってから最初に登録した暗証番号を入力し、最後に (SET) スイッチを2秒以上押すと解除できます。暗証番号を変えたい場合や番号を忘れてしまった場合はメインユニットの16Pコネクターを外す事により暗証番号がリセットされ、新たに暗証番号を登録する事で解除できます。

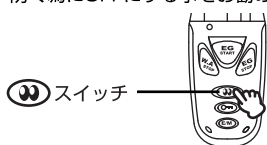
※アンテナユニットのコネクターを外しても暗証番号はリセットされません。

## 機能説明 (セキュリティ機能 [SECURITYモード] について/ セキュリティ機能をスタート/ストップさせる)

### ■セキュリティ機能をスタート/ストップさせる

#### ●セキュリティ機能のスタート方法(ドアロック連動)

- 1** リモコンを開いた状態で  スイッチをONにします。(OPセルカットイモビライザーユニットを接続した場合、ONのみイモビライザー機能が作動します。)  
※工場出荷時はOFFになっています。セキュリティ機能を使用しない場合はリモコンの電池消費を防ぐ為にOFFにする事をお勧めします。



セキュリティマークが点灯します。

- 2** リモコンを閉じた状態でセキュリティスタート&ドアロックスイッチを押します。

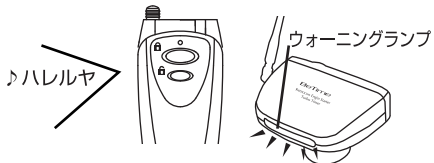
セキュリティスタート&ドアロックスイッチ



※リモコンでのセキュリティスタート作動範囲は、車輻から約5mの距離まで有効です。


※セキュリティ機能をスタートすると同時にドアロックします。(ドアロック配線時のみ)

- 3** 車輻側アンテナユニットが受信すると、リモコンから「♪ハレルヤ」が流れ、アンテナユニット後方ウォーニングランプが点滅します。



※アンテナユニットが受信できないと、リモコンから「♪ショックな音」が流れます。

#### ●セキュリティ機能のストップ方法(セキュリティのみ解除)

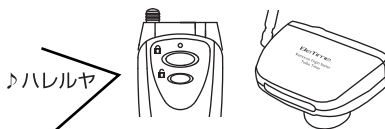
- 1** リモコンを開いた状態で  Warning Alarm STOPスイッチを押します。

Warning Alarm STOPスイッチ



※リモコンを閉じた状態でセキュリティ機能をストップすると、同時にドアアンロックします。

- 2** 車輻側アンテナユニットが受信すると、リモコンから「♪ハレルヤ」が流れ、アンテナユニット後方ウォーニングランプが消灯します。



※アンテナユニットが受信できないと、リモコンから「♪ショックな音」が流れます。

#### ●セキュリティ機能のストップ方法(ドアロック連動)

- 1** リモコンを開いた状態でセキュリティストップ&ドアアンロックスイッチを押します。

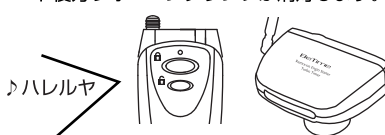
※リモコンでのセキュリティストップ作動範囲は、車輻から約5mの距離まで有効です。



セキュリティストップ&ドアアンロックスイッチ※1

※リモコンを閉じた状態でセキュリティ機能をストップすると、同時にドアアンロックします。

- 2** 車輻側アンテナユニットが受信すると、リモコンから「♪ハレルヤ」が流れ、アンテナユニット後方ウォーニングランプが消灯します。



※アンテナユニットが受信できないと、リモコンから「♪ショックな音」が流れます。



## 機能説明 (セキュリティー機能【SECURITYモード】について/ 車輦に異常があった場合【ウォーニングアラーム機能】)


### ■車輦に異常があった場合【ウォーニングアラーム機能】

車輦に異常があった場合、リモコンで警報するウォーニングアラーム機能を採用しています。

車輦に電圧変化又はカーテシ検出異常があった場合

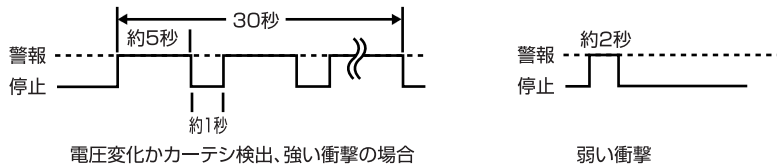


車輦に振動検出異常があった場合

- 車輦に電圧変化又はカーテシ検出異常があった場合、ドアマークが点滅して、「ピロピロピロ」と90秒間リモコンでストップするまで鳴り続けます。  
注:車載アンテナユニットはリモコンに車輦異常を知らせると同時にアンテナユニット後方のウォーニングランプが約40秒間速いフラッシュ点滅をします。
- リモコン警報(ウォーニングアラーム)を止めるには、 Warning Alarm STOPスイッチを押すか、セキュリティーストップ&ドアアンロックスイッチを押します。

### ●外部ホーン警報について

電圧変化、カーテシ検出、強い衝撃を受けた場合は、約30秒間警報します。  
弱い衝撃の場合は、約2秒間警報します。





## 機能説明 (セキュリティー機能について/履歴表示機能について)


### ■履歴表示機能について


車輻に電圧変化又は振動検出がおきた時の履歴時刻を表示します。リモコン電波が届かない場所にいた場合に、車輻異常の有無を確認できます。確認した時から最大21件まで過去の履歴時刻を表示可能です。

### ●履歴表示方法 セレクトNo.1=電圧検出履歴、セレクトNo.2=振動検出履歴



**1** エンジンを停止し、IGキー-OFFにします。セキュリティー機能をONしている場合はリモコンの  Warning Alarm STOPスイッチ又はセキュリティーストップ&ドアアンロックスイッチを押してセキュリティー機能をOFFにします。




**2** もう一度リモコンの  Warning Alarm STOPスイッチを押します。



**3** アンテナユニットが履歴表示します。  
例：日曜日の20時35分に電圧変化があった場合  
セレクトNo.1（電圧変化履歴時刻）とその曜日（日曜日）  
が約10秒間表示されます。  
※電圧変化と振動の異常検出履歴がなければ、何も表示されません。

**4**  スイッチを押す度に電圧変化と振動の異常検出した順に履歴時刻がさかのぼります。  
例：日曜日の2時20分に振動検出異常があった場合  
※約15秒間放置すれば履歴表示は消灯します。もう一度、履歴表示を確認する場合は再度リモコンの  W.A STOPスイッチ又はドアアンロックスイッチを押してセキュリティー機能をOFFにします。

**5** リモコンセキュリティースタート&ドアロックスイッチを押すと、前履歴を消去します。



## 機能説明 (セキュリティー機能 [SECURITYモード] について/ ウォーニングランプについて)


### ■ウォーニングランプについて

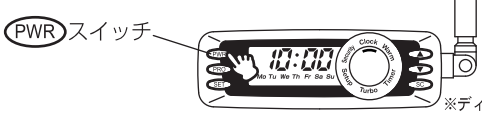
車輛への電圧センサーや振動センサーの異常検出をした時、ウォーニングランプが約40秒早いフラッシュ点滅をします。  
ドアロックした時、アンテナユニットの監視LEDランプ(ウォーニングランプ)を点滅させないようにすることができます。



### ●ウォーニングランプ点滅の停止方法

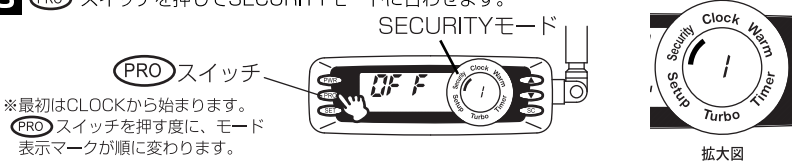
- 1** イグニッションキーをONの位置にします。


- 2** アンテナユニットの電源がON状態になります。  
ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スイッチを押して電源をONにしてください。



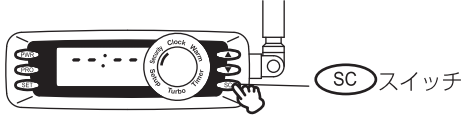
※ディスプレイは現在時刻を表示しています。
- 3** (PRO) スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。

SECURITYモード



※最初はCLOCKから始まります。  
(PRO) スイッチを押す度に、モード表示マークが順に変わります。

拡大図
- 4** (SC) スイッチを2秒以上押します。  
「ピー」とアンテナユニットから音が鳴れば設定完了です。ウォーニングランプ点滅復帰させる場合は同じ手順で再度 (SC) スイッチを長押しします。「ピピッ」と音が鳴れば設定終了です。



### ⚠ 注意

1. リモコンのセキュリティーマークを点灯させないで、ドアロックスイッチを押してもウォーニングランプは点滅しません。
2. ウォーニングランプ点滅を停止した状態で、車輛異常を検出した場合、約40秒早いフラッシュ点滅をした後、消灯します。

## 機能説明 (ワイヤレスドアロック機能について/配線方法)

本機は車輻ドアロック・アンロック線に接続することにより、本機リモコンでドアロック・アンロック作動させることができます。

### ■接続方法

自動車メーカーや車種によってワイヤレスドアロック接続方法が異なります。また、本製品以外に別売ワイヤレスドアロックアダプターを必要とする車種がありますので注意してください。

**Aタイプ**……本製品だけで(オプション品を購入しなくても)作動するタイプ

適応車種…ほとんどのトヨタ車

**Bタイプ**……別売ワイヤレスドアロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ

適応車種…トヨタ車以外

※但し、下記に示す車輻には使用できません。

- 弊社車種別専用ハーネス適合表にてドアロック・アンロック作動可能と明記のない車種。
- トヨタ車以外で、純正キーレスがついていない車種。
- 集中ドアロック制御できない車種。
- 当社以外のセキュリティーシステム装着車(ドアロック運動タイプ)

### ■接続方法

**Aタイプ** 本製品だけで(オプション品を購入しなくても)作動するタイプ

**1** 接続概要図

配線箇所(2 参照)

ドアロックリレー

ドアロックスイッチ

ドアロックモーター

ドアロックモーター

ドアロックモーター

ドアロックモーター

---

**2** 車輻側ドアロック・アンロック線を探してください。

ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックまわりから探し出します。

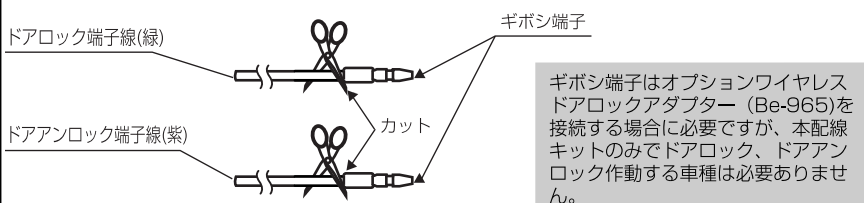
ドアロック線(通常12V)※1 ドアロック動作時→0V 動作後→12V※1
ドアアンロック線(通常12V)※1 ドアアンロック動作時→0V 動作後→12V※1

※場所は車種によって異なります。

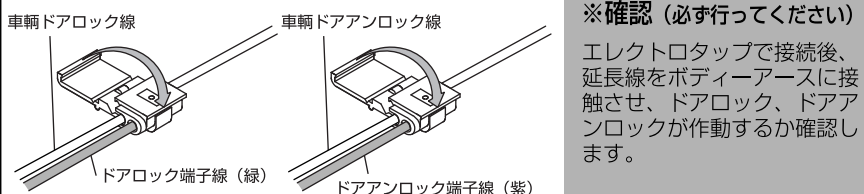
※1.一部の車種でパルス信号のため12V出力しないものがあります。

Aタイプの続き

**3** ドアロック・ドアアンロック端子線のギボシ端子をカットします。



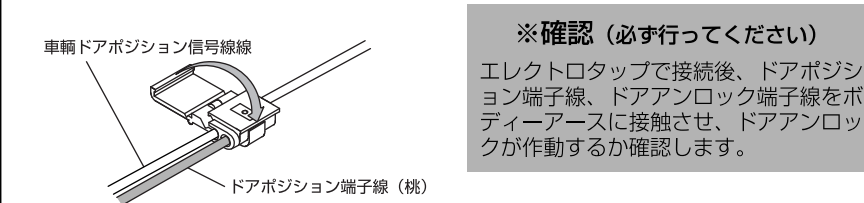
**4** ドアロック・ドアアンロック端子線 (緑・紫) を項目 **2** で探した車種ドアロック線・ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。



**5** 項目 **4** の確認でドアアンロックが作動しない場合、ドアポジション信号が必要となります。(トヨタ系又はニッサン系の一部車種)  
ドアアンロックが作動する場合は、項目 **7** へ進んでください。

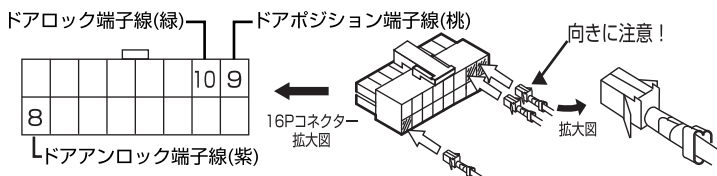


**6** 項目 **4** で探したドアポジション信号線にドアポジション端子線 (桃) をエレクトロタップで接続します。

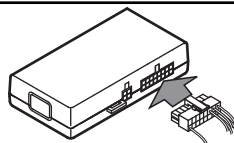


## 機能説明 (ワイヤレスドアロック機能について/配線方法)

- 7** 16PコネクターのNo.8にドアアンロック端子線(紫)を  
 // No.9にドアポジション端子線(桃)を  
 // No.10にドアロック端子線(緑)を  
 しっかりと差し込んでください。  
 ※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



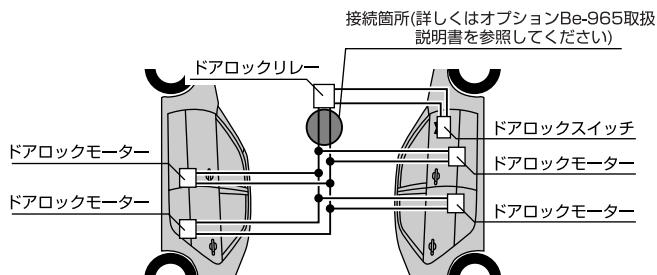
- 8** メインユニットにコネクタを差し込んでください。



**Bタイプ** 別売ワイヤレスロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ

### 接続概要図

ドアロック線(通常0V)・・・ロック時は12Vになり、動作後は0Vに復帰する線です。  
 ドアアンロック線(通常0V)・・・アンロック時は12Vになり、動作後は0Vに復帰する線です。



## 機能説明 (ワイレスドアロック機能について/ドアロック/アンロックする)

### ● ドアロックする

本機リモコンセキュリティスタート&ドアロックスイッチを押してください。

セキュリティスタート&ドアロックスイッチ

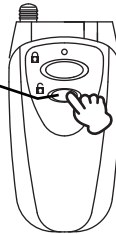


※ ドアをロックすると同時にセキュリティシステムもONになります。(セキュリティ機能がON設定の場合)

### ● ドアアンロックする

本機リモコンセキュリティストップ&ドアアンロックスイッチを押してください。

セキュリティストップ&ドアアンロックスイッチ

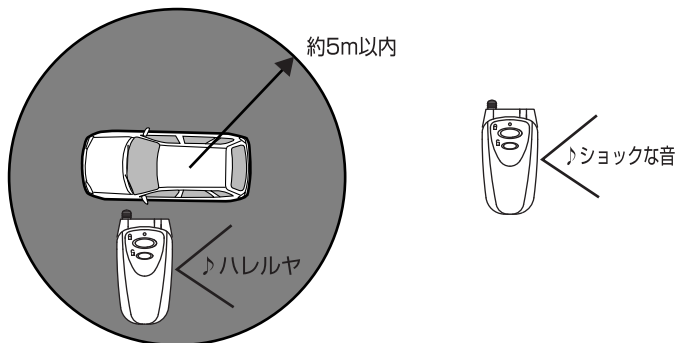


※ ドアをアンロックすると同時にセキュリティシステムもOFFになります。(セキュリティ機能がON設定の場合)

### ⚠ 注意

キーフリー機能使用中はリモコンのセキュリティスタート&ドアロック、セキュリティストップ&アンロックスイッチを押しても作動しません。必ず、キーフリー機能をOFFにしてからご使用ください。(P52) セキュリティスタート&ドアロック、セキュリティストップ&アンロックスイッチを押す時はリモコンを閉じた状態で行ってください。

⚠ 注意：リモコンでのドアロック/アンロック作動範囲は車輦から約5mの距離まで有効です。

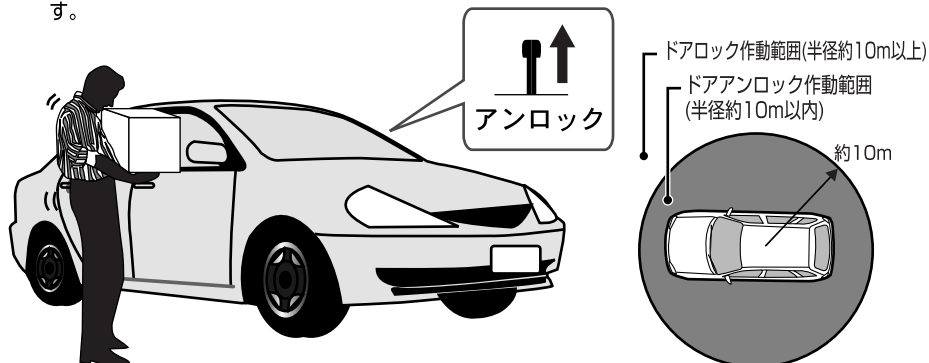


## 機能説明 (ワイレスドアロック機能について/キーフリー機能を使用する)

### ■キーフリー機能を使用する

本機はリモコン内部に内蔵した振動センサーを利用して、電波を発信するキーフリー機能(特許申請中)を採用しています。

車輦に近付くだけでドアをアンロック、車輦から離れると自動的にロックできますので、ショッピング等で手荷物を持ったままドアアンロックスイッチを押さなくても乗車する事ができ、大変便利です。




※車種形状、取付位置、周囲の状況によって作用範囲が変わります。



キーフリー機能を使用するにはワイレスドアロック配線が必要になります。(P48~50参照)  
注意 キーフリー機能はリモコンを閉じた状態でないと使用できません。

### ●リモコンの操作方法

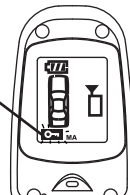
リモコンを開けた状態で  スイッチを押します。(工場出荷時はOFFに設定) キーフリーマークが点灯します。



キーフリーマーク



スイッチ



車輦から離れた時、ドアロックすると、リモコンに返事がかえってきます。

### こんな時キーフリー機能は使用できません

- リモコンを開いた状態の時
- 同周波数の電波が出ている時



注意


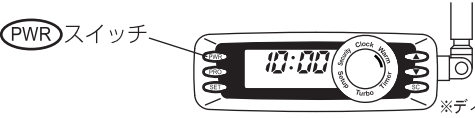
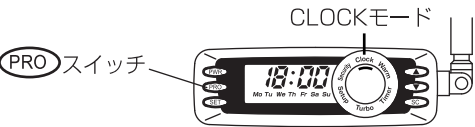
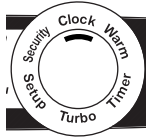
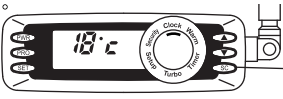
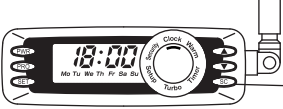
- 絶えず振動のある場所にリモコンを置くと電池の寿命が短くなります。
- 長時間キーフリー機能をご使用しない時はOFFにする事をお勧めします。
- キーフリー機能はリモコン内蔵の振動センサーを利用して、ドアロック/アンロック制御していますので、人体からリモコンに伝わる振動が少ないと作動しない事があります。
- 家の中から約10m範囲内の場所に駐車している場合、ドアがアンロックする可能性があります。防犯のため必ずキーフリー機能をOFFにしてください。



# 機能説明 (温度表示機能)

## ■ 車内温度表示機能について

車内温度をアンテナユニットに表示させる事ができます。

<b>1</b>	イグニッションキーをONの位置にします。	
<b>2</b>	アンテナユニットの電源がON状態になります。 ON状態になっていない場合はアンテナユニットの (PWR) スイッチを押して電源をONにしてください。	 ※ディスプレイはウォーム時間を表示しています。
<b>3</b>	(PRO) スイッチを押してCLOCKモードに合わせます。	 CLOCKモード  拡大図
<b>4</b>	(SC) スイッチを押します。 現在の温度が表示されます。(1℃単位) ※車内温度は温度センサーがメインユニットに内蔵されている為、クーラーやヒーターの影響を受け、実際の温度とは若干異なります。	
<b>5</b>	もう一度 (SC) スイッチを押すと、現在の時刻表示に戻ります。	

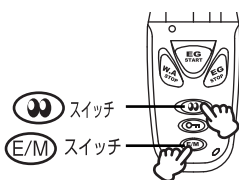
## 機能説明 (デモンストレーション機能)

### ■デモンストレーション機能を使う

- ・店頭等で本機の表示の方法をお客さまに知ってもらう目的でデモンストレーション動作を行う事ができます。

### ●リモコンデモモードの表示方法

リモコンを開けた状態で **(W)** セキュリティスイッチと **(E/M)** スイッチを5秒以上押します。  
※表示画面がいろいろな表示をすれば正常です。

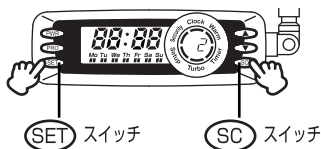


#### ! 注意

デモモードを設定すると、リモコンによるエンジンスタートができなくなります。デモモードを長時間行う場合は、必ず付属のACアダプターを接続してご使用ください。  
通常のリモコンによるエンジンスタートをする場合は、もう一度 **(W)** と **(E/M)** スイッチを同時に5秒以上押してください。  
各モード設定後、デモモードを作動させると、設定したメモリーが消去されますので、もう一度設定しなおしてください。

### ●アンテナユニットデモモードの表示方法

**(SET)** スイッチと **(SC)** スイッチを5秒以上押します。  
※表示画面がいろいろな表示をすれば正常です。



#### ! 注意

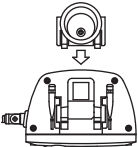
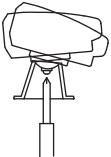
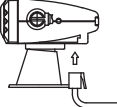
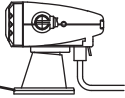
デモモードを設定すると、リモコンによるエンジンスタートができなくなります。通常のリモコンによるエンジンスタートをする場合は、もう一度 **(SET)** と **(SC)** スイッチを同時に5秒以上押してください。  
各モード設定後、デモモードを作動させると、設定したメモリーが消去されますので、もう一度設定しなおしてください。


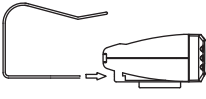
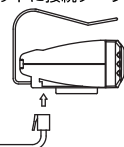
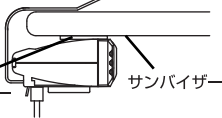
## その他 (アンテナ・メインユニットの固定方法)

### ■ アンテナユニットの取付け・配線



- 注意**
- ・アンテナユニットは視界の妨げにならない場所に取付けてください。
  - ・アンテナユニットは、エアバック（助手席・サイド含む）の作動に影響の無い場所に取付けてください。
  - ・両面テープを貼る際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。

<p><b>1</b> ダッシュボードに取付の場合は、ダッシュボードステーをアンテナユニットの下部へスライドしてはめ込みます。</p>  <p>アンテナユニットを裏から見た図</p>	<p><b>2</b> アンテナユニットの角度を決定し、ドライバーで固定します。</p> 
<p><b>3</b> アンテナユニットに接続ケーブルを差し込みます。</p> 	<p><b>4</b> ダッシュボードステーの底面に両面テープを貼り、ダッシュボードに固定します。</p>  <p>ダッシュボードステー 固定用両面テープ</p>

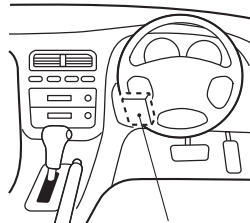
<p><b>1</b> サンバイザーに取付の場合は、アンテナユニット後部の差し込み口へサンバイザーステーを差し込みます。</p>  <p>ここへ差し込む</p>	
<p><b>2</b> アンテナユニットに接続ケーブルを差し込みます。</p> 	<p><b>3</b> アンテナユニットとサンバイザーの隙間に両面テープを貼り、サンバイザーに固定します。</p> <p><b>警告</b> 落下防止の為必ず両面テープで固定してください。</p>  <p>サンバイザーステー 固定用両面テープ サンバイザー</p>

### ■ メインユニットの取付け



- 注意**
- ・メインユニットの固定・配線を行う前に、作動確認（P12～14）を行ってください。
  - ・エアコンやヒーター等の熱風を受ける場所・直接日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付は避けてください。

運転の妨げにならない場所に、付属のインシュロックを使ってしっかりと固定してください。  
(アンダーカバー内側等)



(例：この部分に取付けます。)

## その他 (運転するには)

### ■運転するには

本機リモコンでエンジンをかけた状態だけでは走行できません。  
運転するときは、必ずIGキーをONの位置までまわしてから走行してください。

※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずにONの位置まで回してください。  
(フットブレーキ配線をしている時は、IGキーをONにしない状態でフットブレーキを踏むとエンジンが止まります。)

### ⚠ 注意

- ・IGキーをSTARTの位置までまわすと、セルモーターが故障するおそれがある為、必ずONの位置でキーを止めてください。
- ・IGキーをONの位置までまわさずに走行すると、走行中エンジンが停止し、パワーステアリングが効かなくなる等大変危険です。

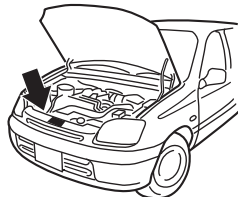


### ■警告ステッカーについて

・本機を取付けた車を第三者が使用又は整備をする場合、安全にお使い頂くため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

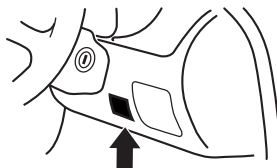
#### 1 警告ステッカー (大) の貼り付け場所

- ・ボンネット (ワンボックス車の場合エンジンルームカバー) を開けた時、エンジンの熱を直接受けない目立つ場所に貼り付けます。



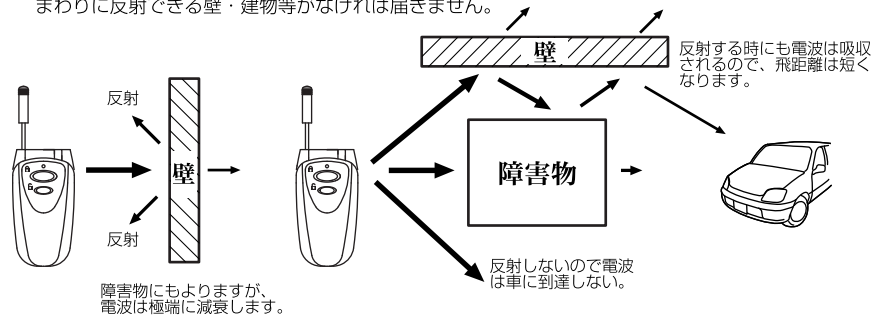
#### 2 警告ステッカー (小) の貼り付け場所

- ・ボンネットオープナー (ワンボックス車の場合エンジンカバーフック) 付近に貼り付けます。



### ■電波の到達距離について (電波特性)

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。(電波が障害物によって反射する。)
- ・電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。

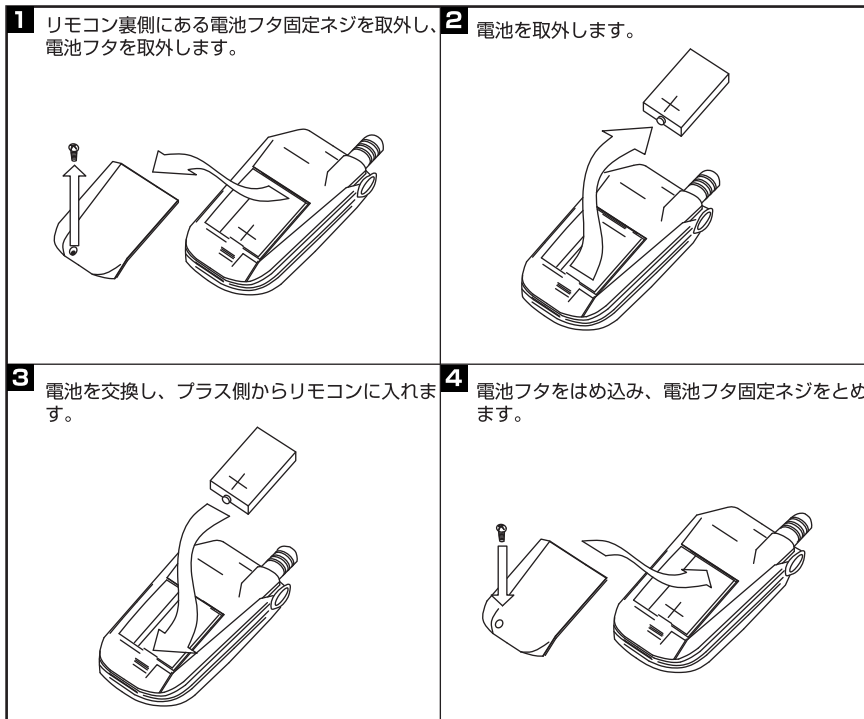


## その他 (リモコンの電池交換について/リモコンを紛失した時は)

### ■リモコンの電池交換について

#### ⚠ 注意

- ・リモコン電池はニッケル水素電池(GP5M60)を使用しています。充電を行っても作動しない状態が頻繁におこるようであれば電池の寿命が考えられます。ニッケル水素蓄電池(GP5M60)はお近くの販売店でお買い求めの上、電池交換してください。
- また、交換した電池はリサイクル可能なニッケル水素蓄電池ですので、販売店員にお渡しください。ご不明な点がございましたら、弊社サービス部(0561-36-5654)までご連絡ください。



### ■リモコンを紛失または破損した時は

新しいリモコン(別売)だけを購入すればIDコードをアンテナユニットに再登録することによりすぐにご使用いただけます。別売リモコン オープン価格  
IDコードの登録方法はP21(IDコードの登録)に記載しています。

## その他 (オプション)

本機は以下のオプションを取付け可能です。

### ■ボンネットセンサー (Be-960) 標準価格 ¥4,800

ボンネットセンサー (Be-960)を配線する事により、リモコンでエンジン始動中、ボンネットを開けた時エンジンを停止させることができます。

### ■イモビ対応アダプター (車種により品番と標準価格が異なります)

イモビ対応アダプターを取り付ける事によって本機でイモビライザー装備車のエンジンを作動させる事ができます。

### ■アンサーフラッシュリレー (Be-968)

アンサーフラッシュリレー (Be-968)を配線する事により、ドアロック、アンロック時ハザードを光らせる事ができます。

### ■セルカットイモビライザーユニット (Be-969)

セルカットイモビライザーユニット (Be-969)を配線する事により、ドアロック機能と連動して車輛のセル始動を制御する簡易セキュリティーとなります。

### ■外部ホーン (Be-971)

警報時にホーンを鳴らす事ができます。

### ■拡張振動センサー2 (SS-053)

カーセキュリティー守護神シリーズと共通のオプションです。拡張振動センサー2(SS-053)取付により車輛に振動があった時に警報する事ができます。

### ■Pポジション線 (Be-963)

ターボタイマー作動中、シフトレバーがパーキング  以外でイグニッションキーが抜ける車輛に接続します。

## その他 (故障かな?と思ったら)

症状	確認内容	対処方法
リモコンでエンジン始動しない。 (アンテナユニットの電波受信マーク【R】が点灯しない)	取付方法が違いますか?	もう一度作動確認手順(P12~14)に従って確認してください。
	アンテナユニットの電源がOFFになっていませんか?	アンテナユニットの <b>PWR</b> スイッチをONにしてください。
	接続ケーブルが抜けていませんか?	それぞれのユニットにケーブルコネクタを接続してください。
	アンテナユニットにエラー番号が表示されていませんか?	エラー番号に従って対処してください。(P15)
	本機のIDコードが消失している可能性があります。	IDコードをもう一度、登録してください。(P21)
	車輦との距離が離れすぎていませんか?	「電波の到達距離について」をご確認ください。(P56)
リモコンでエンジン始動しない。 (アンテナユニットの電波受信マーク【R】が点灯する)	IGキーでエンジンが始動しますか?	始動しない場合は専用ハーネス取付場所をご確認ください。
	カーテシ配線をした状態でドアを開き、リモコンでエンジン始動していませんか?	ドアを閉めてリモコンでエンジン始動してください。
リモコンでエンジン始動するが、すぐ停止する。 (寒い時期や季節の変わり目になる)	エンジン始動確認ができていません。	L端子配線をしてください。(P19)
ターボタイマーが作動しない。	ターボタイマーを設定しましたか?	ターボタイマーの設定をご確認ください。
	フットブレーキ配線をした状態で、フットブレーキを踏みながらIGキーを抜いていませんか?	フットブレーキを踏まずにIGキーを抜いてください。
リモコンのセキュリティースタート&ドアロックスイッチを押しても車輦ドアロック作動できない。	セキュリティースタートスイッチ&ドアロックスイッチを押すとリモコンから「ブツ」と音が鳴る場合は、キーフリー機能がONになっているので、ドアロック機能はご使用できません。	キーフリー機能をOFFにしてください。
	アンサーバックが戻ってこない場合は、車輦との距離が離れすぎている場合があります。	ドアロック有効作動距離は車輦から約5mまでになります。

## その他 (故障かな?と思ったら)

症状	確認内容	対処方法
車輻に近づいてもドアアンロックしない。	リモコンを開いた状態にしていますか？	リモコンを閉じてください。
	リモコンに振動が与えられていますか？	リモコンに伝わる振動が少ないと、ドアアンロック信号を送信しません。リモコンに振動を与えてください。
車輻異常検出してもリモコンにて警報しない。	電圧検出の警報をしない場合は、SECURITYモードの電圧検出がONになっていない可能性があります。	SECURITYモードの電圧検出をONにしてください。(P39)
	振動検出の警報をしない場合は、OP拡張振動センサー2を接続しましたか？	OP拡張振動センサー2(SS-053)をご購入ください。
	OP拡張振動センサー2を接続し、振動検出の警報をしない場合は、SECURITYモードの振動検出がONになっていない可能性があります。	SECURITYモードの振動検出をONにしてください。(P41)
	車輻異常検出してからリモコンに戻るまでの反応が遅いですか？	アンテナユニットが間欠発信をしているため、タイムラグが発生し、リモコン警報まで数秒かかりますが、正常です。
	電池残量がなくなっていますか？	リモコンの充電を行ってください。(P20)
	車輻との距離が離れすぎたり、その間に障害物があったりしませんか？	リモコンのアンテナを延ばしたり、電波の届きやすい場所に移動してください。(P56)
	OPセルカッタイモビライザーユニットを取付けたが、IGキーでエンジン始動してしまう。	SECURITY機能がOFFになっていないですか？(リモコンセキュリティー機能ON表示が消灯している)
OPセルカッタイモビライザーユニットの接続場所が間違っていますか？		16Pコネクターの接続場所をご確認ください。(P17)
イモビライザー登録をしましたか？		任意の暗証番号を登録してください。(P43)
OP外部ホーンを取付けたが、ホーン警報をしない。	OP外部ホーンを「警報する」に設定していますか？	OP外部ホーン警報をOn-1又はOn-2にしてください。(P42)
	リモコンのセキュリティー機能がOFFになっていませんか？	リモコンセキュリティー機能をONにしてください。(P44)



## その他 (アフターサービスについて)

### ■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### ■保証期間

ご購入日から3年間です。

### ■修理を依頼される時

「取付け・接続完了後の作動確認」と「故障かな？と思ったら」(P59～60)のページを参照し点検をしていただいても、なお異常のある時は故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

○保証期間内の場合

恐れ入りますが、取付け販売店に取付け車輛と保証書をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

○保証期間が経過している場合

有料修理となります。販売店にご相談ください。

### ■アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

### ■リモコンを紛失または破損

リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。

再度購入されたリモコンの再登録の方法は、P21「IDコードの登録」をお読みください。

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## その他(仕様)

### ■送信機(リモコン)

技術基準	ARIB標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
識別IDコード	1000万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5kHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
受信感度	-116dBm以下で安定動作
局発安定度	±4ppm以内
送受信アンテナ	内蔵フレキシブルアンテナ
動作温度範囲	-20℃~+60℃
使用電池	角型ニッケル水素蓄電池 (GP5M60)
ケース寸法	37.0 (W) × 130.0 (H) × 22.0 (D) mm(開いた状態) 37.0 (W) × 70.0 (H) × 24.7 (D) mm(閉じた状態)
重量	58g (電池含む)

### ■アンテナユニット

技術基準	ARIB標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5kHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
受信感度	-116dBm以下で安定動作
送受信アンテナ	1/4λホイップアンテナ
動作温度範囲	-20℃~+70℃
電源電圧	12v車専用(DC8v~16v)
消費電流	待機時10mA以下(セキュリティーモードオフの時)
ケース寸法	80.0(W)×56.0(H)×26.0(D)mm
重量	78g

### ■メインユニット(リレー部)

リレー容量・個数	40A×2 (IG1・IG2) 25A×4 (ACC・ST1・ST2・ST-CONT)
寸法	66.5 (W) × 127.5 (H) × 29.0 (D) mm
重量	260g